

4
7
57

長井正海註釋

刑法註釋

全

035892-000-7

特14-235

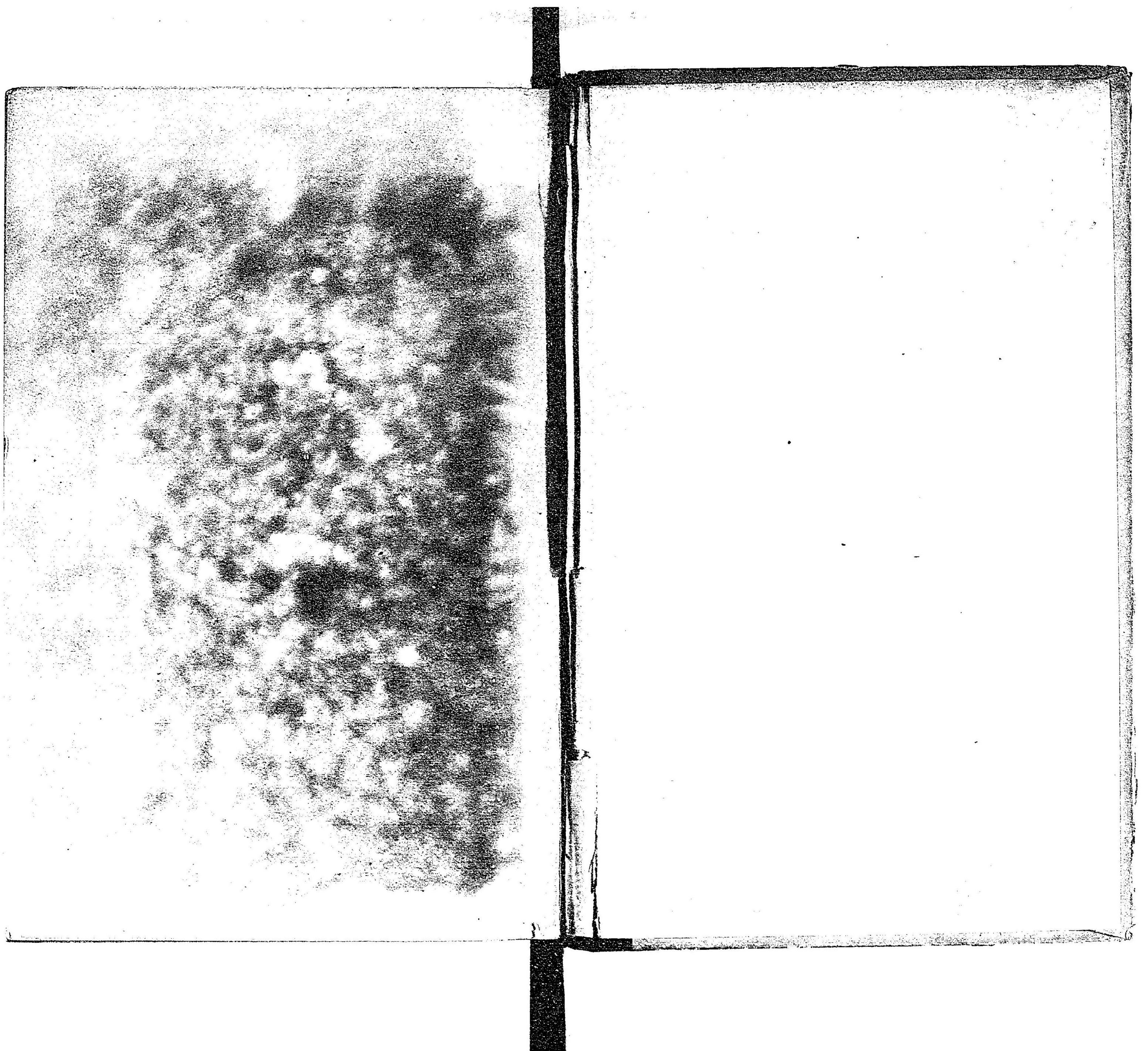
刑法註釋

長井 正海/著

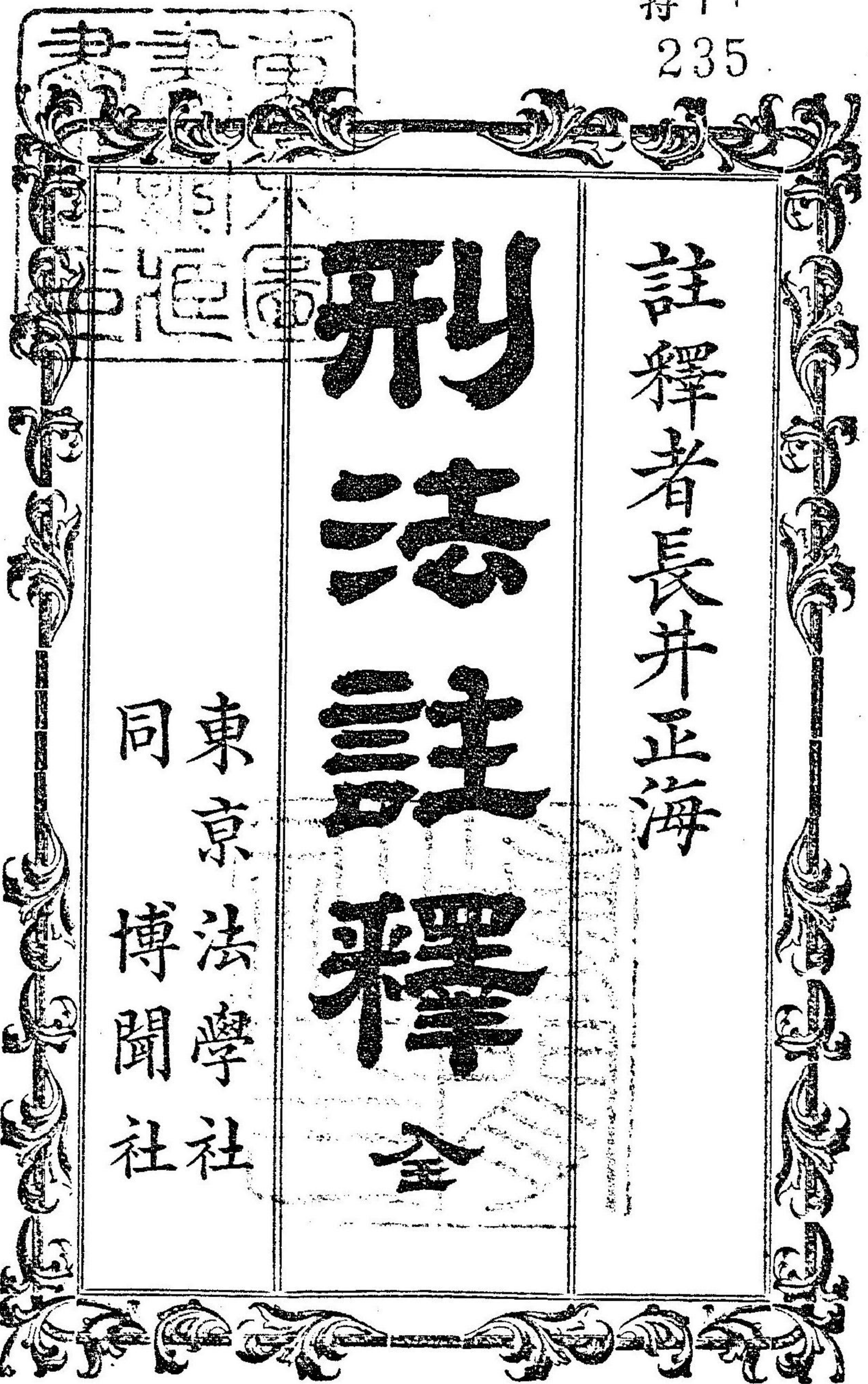
M13

BBP-0480





特 14
235



刑法註釋

全

註釋者長井正海

東京法學社
同博聞社

刑法註釋目錄

○第一編 總則

第一章 法例

第二章 刑例

第一節 刑名

第二節 主刑處分

第三節 附加刑處分

第四節 徵償處分

第五節 刑期計算

第六節 假出獄

第七節 期滿免除

第八節 復權

〔自第一條
至第一百五條〕

一

七

全

一三

二一

二七

二九

三二

三四

三七

| | | | |
|---|-----|-----------|----|
| 二 | 第三章 | 加減例 | 三八 |
| | 第四章 | 不論罪及ヒ減輕 | 四四 |
| | 第一節 | 不論罪及ヒ宥恕減輕 | 全 |
| | 第二節 | 自首減輕 | 四八 |
| | 第三節 | 酌量減輕 | 五〇 |
| | 第五章 | 再犯加重 | 五一 |
| | 第六章 | 加減順序 | 五四 |
| | 第七章 | 數罪俱發 | 五五 |
| | 第八章 | 數人共犯 | 五九 |
| | 第一節 | 正犯 | 全 |
| | 第二節 | 從犯 | 六二 |
| | 第九章 | 未遂犯罪 | 六四 |

第十章 親屬例

六六

○第二編 公益ニ關スル重罪輕罪

〔自第一百六條至第二百九十一條〕

| | | |
|-----|------------------|----|
| 第一章 | 皇室ニ對スル罪 | 六九 |
| 第二章 | 國事ニ關スル罪 | 七〇 |
| 第一節 | 内亂ニ關スル罪 | 七一 |
| 第二節 | 外患ニ關スル罪 | 七五 |
| 第三章 | 靜謐ヲ害スル罪 | 七八 |
| 第一節 | 兇徒聚衆ノ罪 | 全 |
| 第二節 | 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪 | 八〇 |
| 第三節 | 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪 | 八二 |

四

| | | |
|-----|--------------------------|-----|
| 第四節 | 附加刑ノ執行ヲ遁ル、罪 | 八七 |
| 第五節 | 私ニ軍用ノ銃砲彈藥ヲ製造 シ及ヒ所有スル罪 | 八九 |
| 第六節 | 往來通信ヲ妨害スル罪 | 九一 |
| 第七節 | 人ノ住所ヲ侵スル罪 | 九四 |
| 第八節 | 官ノ封印ヲ破棄スル罪 | 九五 |
| 第九節 | 公務ヲ行フヲ拒ム罪 | 九七 |
| 第四章 | 信用ヲ害スル罪 | 一〇〇 |
| 第一節 | 貨幣ヲ偽造スル罪 | 一〇一 |
| 第二節 | 官印ヲ偽造スル罪 | 一〇五 |
| 第三節 | 官ノ文書ヲ偽造スル罪 | 一〇八 |
| 第四節 | 私印私書ヲ偽造スル罪 | 一一〇 |

五

| | | |
|-----|----------------------|-----|
| 第五節 | 免狀鑑札及ヒ疾病證書ヲ偽 造スル罪 | 一一二 |
| 第六節 | 偽證ノ罪 | 一一四 |
| 第七節 | 度量衡ヲ偽造スル罪 | 一一九 |
| 第八節 | 身分ヲ詐稱スル罪 | 一二〇 |
| 第九節 | 公選ノ投票ヲ偽造スル罪 | 一二一 |
| 第五章 | 健康ヲ害スル罪 | 一二二 |
| 第一節 | 阿片烟ニ關スル罪 | 全 |
| 第二節 | 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪 | 一二四 |
| 第三節 | 傳染病豫防規則ニ關スル 罪 | 一二六 |
| 第四節 | 危害品及ヒ健康ヲ害ス可キ | |

六

物品製造ノ規則ニ關スル罪

一二七

第五節 健康ヲ害ス可キ飲食物及ヒ

藥劑ヲ販賣スル罪

一二八

第六節 私ニ醫業ヲ爲ス罪

一三〇

第六章 風俗ヲ害スル罪

全

第七章 死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ發掘

スル罪

一三三

第八章 商業及ヒ農工ノ業ヲ妨害スル

罪

一三五

第九章 官吏瀆職ノ罪

一三八

第一節 官吏公益ヲ害スル罪

全

第二節 官吏人民ニ對スル罪

一三九

第三節 官吏財産ニ對スル罪

一四七

○第三編 身體財産ニ對スル重罪經罪

〔自第二百九十二條
至第四百廿四條〕

第一章 身體ニ對スル罪

一四九

第一節 謀殺故殺ノ罪

全

第二節 毆打創傷ノ罪

一五一

第三節 殺傷ニ關スル宥恕及ヒ不

論罪

一五六

第四節 過失殺傷ノ罪

一五九

第五節 自殺ニ關スル罪

一六〇

第六節 擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪

一六一

第七節 脅迫ノ罪

一六三

第八節 墮胎ノ罪

一六四

七

八

第九節 幼者又ハ老疾者ヲ遺棄ス
ル罪

一六六

第十節 幼者ヲ畧取誘拐スル罪

一六八

第十一節 猥褻姦淫重婚ノ罪

一七〇

第十二節 誣告及ヒ誹毀ノ罪

一七三

第十三節 祖父母父母ニ對スル罪

一七七

第二章 財産ニ對スル罪

一七八

第一節 竊盜ノ罪

全

第二節 強盜ノ罪

一八二

第三節 遺失物理藏物ニ關スル罪

一八三

第四節 家資分散ニ關スル罪

一八四

第五節 詐欺取財ノ罪及ヒ受寄財

物ニ關スル罪

一八六

第六節 贓物ニ關スル罪

一九〇

第七節 放火失火ノ罪

一九一

第八節 決水ノ罪

一九三

第九節 船舶ヲ覆没スル罪

一九五

第十節 家屋物品ヲ毀壞シ及ヒ動

植物ヲ害スル罪

全

○第四編 違警罪

〔自第四百廿五條
至第四百卅條〕

一九九

正誤

- 五丁ノ六行 (是ハ但輕刑ノ既往ニ及フハ)ノ誤リ
- 八ノ四 (シテ)ノ下(死刑)ヲ脱ス
- 九ノ八 (條)ノ下(見ルヘシ)ヲ脱ス
- 一八ノ七 (賃)ハ(工)ノ誤リ
- 一三ノ一及ヒ九、一四ノ一〇、二七ノ八、二八ノ一〇、 (ノ意)ハ衍
- 三三ノ一 (ニ得)ハ(ヲ得)ノ誤リ
- 三三ノ九 (條)ハ衍
- 四二ノ八及ヒ一、二 (十三日)ハ(十二日)ノ誤リ
- 五〇ノ二 (四)ハ(三)ノ誤リ
- 四六ノ六 (時)ノ上(犯ス)ヲ脱ス

刑法註釋

註釋者 長井正海

刑法 (明治十三年七月十七日太政官第三十六號布告)

○第一編 總則

(注)刑法四百卅ヶ條別テ四編トナス但シ犯罪ヲ罰ス可キ場合ハ刑法第二編ル公益ニ關スル重罪輕罪第三編ル身体財産ニ對スル重罪輕罪第四編ル違警(及ヒ他)ノ罰則ニ各正條アリテ細カニ之ヲ明定ス○今此第一編(自第一條至第百十五條編中凡ヘテ十ヶ章节又別)ニ於テハ罪ノ種別法律ノ効刑ノ階級刑ノ適用其他都ヘテ刑法及ヒ他ノ罰則ニ通シ用ユヘキ一般ノ法則ヲ記載シ以テ刑法ノ全体ヲ統管セリ

○第一章 法例

(注)此章并第二章ニハ總則中ノ最モ一般ニ關スル總則ヲ記載ス

二 第一條 凡法律ニ於テ罰ス可キ罪別テ三種ト爲ス

一 重罪

二 輕罪

三 違警罪

[注]凡法律トハ此刑法及ヒ他諸般ノ法律規則ヲ總稱シタルナリ○罪トハ法律ノ罰スル所爲ヲ云フ罪ヲ總稱シテ犯罪トモ云フ○三種ノ別ハ法律規則ニ於テ刑罰ヲ科スル所爲即チ罪ニハ夥多ノ輕重アリ故ニ本ト先ツ罪事ニ輕重ヲ立テ其立テタル輕重ニ從ヒ之ニ科スル所ノ刑ニ輕重ヲ立テ而シテ其之ヲ三級ニ區別シタルモノニシテ罪ノ性質ヲ區別シ等級ヲ立テタルニハ非ラサルナリ○重罪ハ第七條輕罪ハ第八條違警罪ハ第九條ニ記シタル刑ヲ以テ罰スル罪ヲ云フ

第二條 法律ニ正條ナキ者ハ何等ノ所爲ト雖トモ之ヲ罰スルヲ得ス

[注]凡テ人ノ行爲假ヘ惡事タルニモセヨ其行爲ノ苟モ法律ニ於テ罰スヘキノ明記ナキ片ハ之ヲ罰スルヲ得ス某所爲ハ某法ノ罪ニ類似シタリトテモ比付援引シテ刑ヲ施スヲ得サルナリ其故何者刑ハ法律ノ罰スヘキノ所爲ノミニ限ルヲ以テ未ダ法律ニ罰スヘキノ所爲ナリト明記セサル片ハ罪ニアラス既ニ罪ニアラサレハ刑法ノ問ハサル所ナレハナリ蓋シ本條ハ人民カ橫斷專恣ノ刑ヲ免カル、一大切要ナル原則ナリ

第三條 法律ハ頒布以前ニ係ル犯罪ニ及ホスヲ得ス

[注]本條ノ意ハ犯時ノ既往ニ係ルト將來ニ係ルトノ點ニ於テ如何ニ犯罪ヲ處ス可キヤト云フニ在リ夫レ刑法ハ律ニ正條アルノミヲ以テ犯罪ヲ罰スルヲ得ス必スヤ其律條頒布以後ニ屬スルニ非サレハ之ヲ罰スルヲ許サ、ルナリ假令ヘ律條ニ明記スル所ト同一ノ

四

性質ヲ具スル罪ト雖モ其犯事其律條ノ頒布以前ニアレハ之ヲ罰スルヲ得ス

凡ソ刑法ノ目的トスル所ハ人ノ行爲ヲ制禁シ犯者ヲ待ツニ刑法ヲ以テシ以テ畏ル、所アラシムルニ在リ已ニ前條ニ正條アルニ非サレハ罰スルヲ得ストセリ此原則ヲ實行シタル以上ハ豫メ其犯サ、ル以前ニ罰ス可キ罪ノ正條ヲ設ケテ以テ之ヲ明示セサルヘカラス正條ヲ設クルト第二條豫メ之ヲ明示スルトノ原則ハ二十カラ并行レテ相離ルヘカラサル者ナリト雖モ其事タル兩者自ラ別異ノ一ニ及フノ効ナキヲ確定セリ此條亦人民ノ權利ヲ保護スル所以ノ一大原則ナリ

若シ所犯頒布以前ニ在テ未ク判決ヲ經サル者ハ新舊ノ法ヲ比照シ經

キニ從テ處斷ス

(注)所犯トハ罪ヲ犯シタルヲ判決トハ裁判ヲシテ理ト不理トノ決着スルヲ云フ○比照ストハ双方ヲ見合スルヲ○此條ノ意ハ若シ又タ法律布告ノ以前ニ罪ヲ犯シタルドモ未タ其罪ノ判決ニ至ラザル者ハ今度新タニ布告シタル法ト其以前ノ舊法トノ二ツヲ見合セテ孰レカ其輕キ方ニ依ツテ其罪ヲ處斷スルモノナリ是罪囚ヲ憫ムカ爲メニアラスシテ昔日ハ其罪ヲ重ク罰スルヲ要トシタルモ今日ニ在テハ舊法ノ如ク重ク罰スルニ及ハストノ律意ナリ

第四條 此刑法ハ陸海軍ニ關スル法律ヲ以テ論ス可キ者ニ施用スルヲ得ス

五

(注)軍人ニハ紀律ノ嚴チ要スルカ爲メ其刑モ亦常律ヨリ重シ故ニ別異ス獨リ刑罰ノ本旨ヲ異ニスルノミナラス裁判所管轄及ヒ手續モ

六

亦異ナリ但シ軍人ト雖モ兵事犯罪ニアラスシテ常事犯罪タルトハ
常律ヲ以テ罰セラレヘシ

第五條

此刑法ニ正條ナクシテ他ノ法律規則ニ刑名アル者ハ各其
法律規則ニ從フ

[注]此刑法ノ中ニ於テ正シク引抵ツヘキ箇條ナクシテ出板銃獵^{カイワシ}海關
鐵道郵便等ノ條例規則ニ刑名アルトキハ各々其法律規則ニ從フ蓋
シ特別ノ條例ハ便宜ノ爲メ時々變換シ且ツ之ヲ遵奉スルモノ一部
ノ人ニ限ルヲ以テ刑法ニ編入セズ別ニ其罰則ヲ定ムルナリ
若シ他ノ法律規則ニ於テ別ニ總則ヲ掲ゲサル者ハ此刑法ノ總則ニ從
フ

[注]若シモ此外ノ諸種ノ條例規則ニ於テ別段罰則施行ノ方法例ハ酌
量減輕等ノ類ノ如キヲ書キ示シテナキモノハ此刑法ノ總則ニ從フ

第二章

刑例

[注]此章ニ於テハ刑ノ定方ヲ記載ス

第一節 刑名

[注]此一節ニ於テハ刑罰ノ名目ヲ掲ケ出スナリ

第六條

刑ハ主刑及ヒ附加刑ト爲ス

[注]主刑トハ主トナル可キ本刑ヲ云フ下條ニ見ユ○附加刑トハ主刑
ノ上ニ猶ホ附加ヘテ抵テ行フモノナリ故ニ附加刑ハカリテ抵テ
行フコトナシ其目ハ第十條ニ記載ス
主刑ハ之ヲ宣告ス

[注]主刑ハ必ス裁判ノ作ニ言渡スヘキモノトス

七

附加刑ハ法律ニ於テ其宣告スル者ト宣告セサル者トヲ定ム

八

〔注〕附加刑ハ言渡サズモ主刑ノ言渡ノミニテ附加スルアリ又附加刑ノ言渡ナキ件ハ主刑ノミニテ附加セサルアリ

第七條

左ニ記載シタル者ヲ以テ重罪ノ主刑ト爲ス

〔注〕九個ノ刑ノ中死刑徒刑懲役ハ常事犯ノ刑ニシテ流刑禁獄ハ國事犯ノ刑トス死刑ノ外八個ノ刑ハ犯者ノ身ヲ束縛シテ其自由ヲ剝奪スルモノナリ

一死刑

〔注〕第十二條ヨリ第十六條迄ヲ見ルベシ

二無期徒刑

三有期徒刑

〔注〕第十七七八九條及ヒ二十五條ヲ見ルベシ

四無期流刑

五有期徒刑

〔注〕第二十條及ヒ二十一條ヲ見ルベシ

六重懲役

七輕懲役

〔注〕第十八條第二十二條及ヒ第二十五條ヲ見ルベシ

八重禁獄

九輕禁獄

〔注〕第二十三條

第八條

左ニ記載シタル者ヲ以テ輕罪ノ主刑ト爲ス

〔注〕輕罪ノ刑ハ犯者ノ自由ヲ剝奪スルト金錢ヲ取立テラル、トノ二種ナリ

九

一重禁錮

〔注〕第二十四條第二十五條ニ在リ

二 輕禁錮

〔注〕第二十四條第二十七條ニ在リ

三 罰金

〔注〕第二十六七條ニ在リ

第九條

左ニ記載シタル者ヲ以テ違警罪ノ主刑ト爲ス

〔注〕違警罪ハ社會ノ風俗公益ノ爲メニ罰スルモノ甚タ多シ

一 拘留

〔注〕第二十八條ヲ見ルベシ

二 科料

〔注〕第二十九條第三十條ヲ見ルベシ

第十條

左ニ記載シタル者ヲ以テ附加刑ト爲ス

〔注〕本條ハ附加刑ノ名稱ヲ示シタルナリ附加刑ノ處分ニ至テハ第三十一條以下第四十四條迄ニ之ヲ規定セリ

一 剝奪公權

二 停止公權

〔注〕公權トハ第三十一條ニ列記シタル都テノ權利ヲ云フ○停止ハ刑

ニ處セラレタル期限間第三十一條ニ定メタル權利即チ公權ノ全部又ハ幾分ヲ行ハサラシムル者トス

三 禁治產

〔注〕產ヲ治ムルノ權ハ人生欠ク可カラサル者ニシテ私權中ノ最モ重要ナル部分ナリ○犯罪ノ種別性質ニ因リ主刑ノ期限間此權ヲ行フヲ禁斷セラレ、モノトス但第三十五條同六條ニ就テ見ルヘシ

四 監視

〔注〕監視トハ主刑ノ期限ノ終リタル後又ハ主刑ヲ免セラレ犯人自由ノ身トナリタル時ヨリ其者ノ舉動ヲ注視スル爲メニ期限ヲ定メテ其期限間居所ノ地ヲ限リ住居セシメ常ニ警察ヲ以テ注視セシムルヲ云フ第三十七條以下見合スヘシ

五罰金

〔注〕第四十二條ヲ見合スヘシ

六沒收

〔注〕制禁物或ハ罪ヲ犯ス爲メノ用ニ供シタル物品又ハ犯罪ニ因リ得タル物件即チ贓物等ヲ取り上クルコト

△**第十一條** 刑ヲ執行シ及ヒ犯人ヲ檢束スル方法細目ハ別ニ規則ヲ以テ之ヲ定ム

〔注〕檢束トハ束縛シテ自在ニ舉動スルヲ得サラシムルヲ云フ○本條

ノ意ハ刑ヲ犯罪人ニ抵テ及ヒ犯罪人ヲ締付ケル仕方等其精シキコトハ別段又タ規則ヲ立テ、之ヲ定ムルモノトス其規則ノ如キハ實際ノ都合ニヨリ數々改正スルモノナレハ刑法中ニ編入セス刑法ハ數々變更スルモノニアラサシハナリ

第二節 主刑處分

〔注〕主刑ヲ執リ行フコトノ仕方ヲ云フ

第十二條 死刑ハ絞首ス但規則ニ定ムル所ノ官吏臨檢シ獄内ニ於テ之ヲ行フ

〔注〕臨檢トハ立合テ檢視スルコト○此條ノ意ハ今回ノ刑法ニテ死刑ト云フハ總テ絞首ニテ斬首スルコトナシ其絞首ハ別段規則ニ定ムル官員カ立合ノ上へ牢屋ノ内ニテ行フナリ蓋シ慘狀ヲ公衆ニ見セシメサル爲メナリ

第十三條

死刑ハ司法卿ノ命令アルニ非サレハ之ヲ行フヲ得ス

〔注〕死刑宣告ヲ受ケタル者上告ヲナシ又ハ特赦ヲ請求スルヲ得然ル

ニ死刑一トシテ決行スレハ復ヒ還ラズ故ニ他ノ刑ヨリモ鄭重ニス

第十四條

大祀令節國祭ノ日ハ死刑ヲ行フヲ禁ス

〔注〕大祀ハ天子御先代ノ御祀ヲ云フ○令節トハ天長節等ヲ云フ○

國祭トハ國中一般ノ祭リヲ云フ

第十五條

死刑ノ宣告ヲ受ケタル婦女懐胎ナル時ハ其執行ヲ停メ

分晩後一百日ヲ經ルニ非サレハ刑ヲ行ハス

〔注〕其執行ヲ停止ストハ刑ヲ行フヲ見合スルナリ○分娩ノ後トハ兒

子ヲ産ミ出シタル後ヲ云フ○此條ノ意ハ罪ヲ犯シテ死刑ノ申シ渡

シテ受ケタル婦人カ若シモチナル時ハ即時ニ刑スルヲ止メ其

兒子ノ出生シタル後百日ヲ過キテ刑ヲ行フナリ犯人ノ一身ニ

止ルノ意ナリ

第十六條

死刑ノ遺骸ハ親屬故舊請フ者アレハ之ヲ下付ス但式ヲ

用ヒテ葬ルヲ許サス

〔注〕死刑ニ遭ヒタルモノ、死骸ハ其親類ノモノ又ハ朋友或ハ知音ノ

モノガ下ケ渡シテ願ヒ出ツレバ之ヲ下ケ渡ス但シ禮式ヲ用テ埋葬

スルヲ許サ、ルハ刑ノ効力ヲ薄弱ナラシメサルカ爲メナリ

第十七條

徒刑ハ無期有期ヲ分テ島地ニ發遣シ定役ニ服ス有期

徒刑ハ十二年以上十五年以下ト爲ス

〔注〕發遣トハ送りヤルヲ○定役ニ服ストハ徒刑ニ爲サシムル丈ケノ

定リ通りノ使役ヲ爲サシムルト島地ニ遣スハ逃脫ヲ防ク爲メナ

リ

第十八條

徒刑ノ婦女ハ島地ニ發遣セス内地ノ懲役場ニ於テ定役

ニ服ス

〔注〕徒刑ニ處セラレタル婦人ハ島地ノ徒刑場ニ送リヤルコトナシ内地ノ懲役場ニ入レ置キ定リ通りノ使役ヲ爲サシムルナリ婦女性質外役ニ堪ヘス故ニ監内ニ於テ役ス

第十九條 徒刑ノ囚六十歳ニ滿ル者ハ通常ノ定役ヲ免シ其体力相當ノ定役ニ服ス

〔注〕徒刑ニ處セラレタル囚人カ年齢最早六十歳以上ニナルモノハ當リ前ノ使役ヲ爲スコトヲ免ルシテ其身体ト力ヲト丁度相ヒ叶フ程ノ老人相應ノ使役ヲ爲サシム恩旨ニ出タルモノナリ

第二十條 流刑ハ無期有期ヲ分タス島地ノ獄ニ幽閉シ定役ニ服セ

〔注〕幽閉トハ獄屋ノ中ニ閉チ込ムルコト無期ノ流刑モ有期ノ流刑ヲ

モ分タス島地ノ中ニ在ル獄屋ノ内ニ閉チ込メテ使役セズ
有期流刑ハ十二年以上十五年以下トス

第二十一條 無期流刑ノ囚五年ヲ經過スレバ行政ノ處分ヲ以テ幽閉ヲ免シ島地ニ於テ地ヲ限り居住セシムルコトヲ得
有期流刑ノ囚三年ヲ經過スル者亦同シ

第二十二條 懲役ハ内地ノ懲役場ニ入レ定役ニ服ス但六十歳ニ滿ル者ハ第十九條ノ例ニ從フ

〔注〕懲役人ハ兼テ内地ニ定メラレタル懲役場ニ入レテ定リタル使役ヲ爲サシム但シ年齢最早六十歳以上ニナリタル者ハ第十九條ニ記載シタルガ如ク通常ノ使役ヲ免シテ其身体ト力ヲト丁度相ヒ叶フ程ノ使役ヲ爲サシム裁判ノ判決シタル日已ニ丁度六十歳ニナル者モ亦右ノ如シ
重懲役ハ九年以上十一年以下輕懲役ハ六年以上八年以下ト爲ス

第二十三條 禁獄ハ内地ノ獄ニ入レ定役ニ服セス

重禁獄ハ九年以上十一年以下輕禁獄ハ六年以上八年以下ト爲ス

第二十四條 禁錮ハ禁錮場ニ留置シ重禁錮ハ定役ニ服シ輕禁錮ハ

定役ニ服セス

禁錮ハ重輕ヲ別タス十一日以上五年以下ト爲シ仍ホ各本條ニ於テ其

長短ヲ區別ス

第二十五條 定役ニ服スル囚人ノ賃錢ハ監獄ノ規則ニ從ヒ其幾分

ヲ獄舎ノ費用ニ供シ其幾分ヲ囚人ニ給與ス但現役百日以内ハ給與ノ

限ニ在ラス

〔注〕囚人ノ勞働ヨリ生シタル賃金ハ其働賃ノ中テノ何程カラ獄屋ノ

入費ニ引落シ残り何程カナ其囚人ニ與ヘテ囚人ノ意ヲ快ハシム但

勞働百日以上ニアラザレハ其賃金ハ皆テ獄舎ノ入用ニ引落ス

第二十六條 罰金ハ二圓以上ト爲シ仍ホ各本條ニ於テ其多寡ヲ區別ス

第二十七條 罰金ハ裁判確定ノ日ヨリ二月内ニ納完セシム若シ限

内納完セサル者ハ一圓ヲ一日ニ折算シ之ヲ輕禁錮ニ換フ其一圓ニ滿

サル者ト雖モ仍ホ一日ニ計算ス

〔注〕罰金ノ一圓ヲ輕禁錮一日ニ當ルト定メタリ罰金ノ端數一圓ニ足

ラスモ同シク輕禁錮ノ一日ト勘定スルナリ罰金ヲ禁錮ニ換フルハ

便利法ナリ敢テ刑ヲ重フスルノ意ニアラス

罰金ヲ禁錮ニ換フル者ハ更ニ裁判ヲ用ヒス檢察官ノ求ニ因リ裁判官

之ヲ命ス但禁錮ノ期限ハ二年ニ過クルヲ得ス

〔注〕罰金ノ刑ヲ禁錮ノ刑ニ取り換フルハ形ノ如ク又々更テニ其事

ヲ裁判スルニ非ス唯々檢察官ノ申立ノミヲ以テ判事長之ヲ輕禁錮

ニ處スルナリ

若シ禁錮限内罰金ヲ納メタル時ハ其輕過シタル日數ヲ扣除シテ禁錮ヲ免ス親屬其他ノ者代テ罰金ヲ納メタル時亦同シ

〔注〕若シモ罰金ノ刑ニ換ヘタル禁錮ノ期限ノ内ニ罰金ヲ納メタル時ハ其最早牢屋ノ中ニテ過キ去リタル日數ニ相當スルタケノ金員ヲ引キ除ケテ其残りヲ納メシメテ其禁錮ヲ免ス但シ其親類ノ者又ハ其外ノモノカ當犯罪人ニ代リテ罰金ヲ納メタル時モ矢張禁錮ヲ免スナリ

第二十八條 拘留ハ拘留所ニ留置シ定役ニ服セス其刑期ハ一日以上十日以下ト爲シ仍ホ各本條ニ於テ其長短ヲ區別ス

〔注〕拘留トハ人ヲ拿捕繫留スルノ義即チ人ノ自由ヲ束縛スルノ刑〇拘留所ハ禁錮等ノ監獄所内ニ別室ヲ設クルトアリ又ハ別所ニ建設スルトアリ

第二十九條 科料ハ五錢以上一圓九十五錢以下ト爲シ仍ホ各本條ニ於テ其多寡ヲ區別ス

第三十條 科料ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ納完セシム若シ限内納完セサル者ハ第二十七條ノ例ニ照シ之ヲ拘留ニ換フ

第三節 附加刑處分

第三十一條 剝奪公權ハ左ノ權ヲ剝奪ス

〔注〕左ノ諸權ハ法律上ニ於テ尤モ重要ナル權ナレハ之ヲ總稱シテ公權ト云フ公權ト私權ハ似テ異ナリ公權ト云ヒ私權ト云フモ共ニ國民タル者ニ屬スト雖モ私權ハ其一身ニ屬シ公權ハ政治ニ關シ又ハ社會公衆ニ對スルノ別アリ

一 國民ノ特權

〔注〕陪審官議員等ノ如ク國民ニ限り有スル權利ヲ云フ

二官吏ト爲ルノ權

三勳章年金位記賞號恩給ヲ有スルノ權

〔注〕勳章ハ勳功ヲ賞スル章牌ノコト年金ハ功勞ニヨリテ褒美トシテ年々賜ル所ノ金○貴號トハ王侯又ハ大臣或ハ博士等貴重ノ稱號ヲ云フ○恩給トハ功勞アレハ其恩義ニ報ヒラル、爲メニ賜ハル所ノ祿或ハ金ヲ云フ譬へハ陸軍或ハ海軍ノ士官ガ戰死シタル後トニ其妻ノ子ヲ養フ爲メニ賜ハル等ノ類ヲ云フ

四外國ノ勳章ヲ佩用スルノ權

〔注〕佩用ストハ身ニ懸ケ用ユルコト○内國ノ勳章ハ所有スル權ヲ奪ハルレモ外國ヨリ賞ヒタル勳章ハ身ニ飾サルコトニ禁シラル、ナ

五兵籍ニ入ルノ權

六裁判所ニ於テ證人ト爲ルノ權但單ニ事實ヲ陳述スルハ此限ニ在ラズ
七後見人ト爲ルノ權但親屬ノ許可ヲ得テ子孫ノ爲メニスルハ此限ニ在ラズ

八分散者ノ管財人ト爲リ又ハ會社及ヒ共有財産ヲ管理スルノ權

〔注〕管財人トハ其財産ヲ預カリ持ツコトヲ云フ○共有財産トハ多ク人ト共モニ財産ヲ所有スルヲ云フ○管理トハ支配スルコト

九學校長及ヒ教師學監ト爲ルノ權

第三十二條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス終身公權ヲ剝奪ス

第三十三條 禁錮ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス現任ノ官職ヲ失ヒ及ヒ其刑期間公權ヲ行フコトヲ停止ス

〔注〕現任ノ官職トハ現在勤タル官及ヒ職ヲ云フ

第三十四條 輕罪ノ刑ニ於テ監視ニ付シタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒ
ス監視ノ期限間公權ヲ行フヲ停止ス

主刑ヲ免シテ止テ監視ニ付シタル者亦同シ

第三十五條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス其主
刑ノ終ルマテ自カラ財産ヲ治ムルヲ禁ス

〔注〕犯人ノ財産ハ管財人ヲ立テ支配セシムルナリ

第三十六條 流刑ノ囚幽閉ヲ免セラレタル時ハ行政ノ處分ヲ以テ
治産ノ禁ノ幾分ヲ免スルヲ得

〔注〕治産ノ禁トハ産財ヲ自由ニ處分スルヲ得カラシムルヲ云フ

第三十七條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス各本
刑ノ短期三分ノ一ニ等シキ時間監視ニ付ス

第三十八條 輕罪ノ刑ニ附加スル監視ハ之ヲ宣告ス但各本條ニ記

載スルノ外監視ニ附スルヲ得ス

〔注〕輕罪ノ刑ニ附加スル監視トハ輕罪ノ刑ヲ主刑トシテ抵テラレ其
附加刑トシテ監視ノ刑ヲ抵テラル、ト云フ

第三十九條 死刑及ヒ無期刑ノ期滿免除ヲ得タル者ハ別ニ宣告ヲ
用ヒス五年間監視ニ付ス

第四十條 監視ノ期限ハ主刑ノ終リタル日ヨリ起算ス主刑ノ期滿
免除ヲ得タル時ハ其捕ニ就キタル日ヨリ起算ス若シ主刑ヲ免シテ止
テ監視ニ付シタル時ハ其裁判確定ノ日ヨリ起算ス

第四十一條 監視ニ付セラレタル者其情狀ニ因リ行政ノ處分ヲ以
テ假ニ監視ヲ免スルヲ得

第四十二條 附加ノ罰金ハ之ヲ宣告ス若シ一月内ニ納完セサル
時ハ第二十七條ノ例ニ照シ輕禁錮ニ換ヘ主刑滿限ノ後之ヲ執行

〔注〕附加ノ罰金トハ輕罪ノ罰金ト附加刑ノ罰金トノ二タ通りアルヲ以テ間違ハヌ爲メニ附加ノ罰金ト云ヒタルナリ○主刑ノ罰金ハ輕

罪ノ刑ニシテ附加ノ罰金ハ重輕罪ニ通シ用フル別アリ

第四十三條

左ニ記載シタル物件ハ宣告シテ官ニ沒收ス但法律規則ニ於テ別ニ沒收ノ例ヲ定メタル者ハ各其法律規則ニ從フ

一 法律ニ於テ禁制シタル物件

〔注〕人民ガ持チ携フルコトヲ禁制シタル物品

二 犯罪ノ用ニ供シタル物件

三 犯罪ニ因テ得タル物件

〔注〕罪ヲ犯ス爲メノ道具及ヒ贓物ハ取上ケラル

第四十四條

法律ニ於テ禁制シタル物件ハ何人ノ所有ヲ問ハス之

ヲ沒收ス犯罪ノ用ニ供シ及ヒ犯罪ニ因テ得タル物件ハ犯人ノ所有ニ係リ又ハ所有主ナキ時ノ外之ヲ沒收スルコトヲ得ス

第四節 徵償處分

〔注〕凡テ刑法上ニ於テ裁判費用又ハ償金等ヲ取立ツルコトヲ云フ

第四十五條

刑事ノ裁判費用ハ其全部又ハ幾分ヲ犯人ニ科ス但其費用ノ額ハ別ニ規則ヲ以テ之レヲ定ム

〔注〕其全部トハ入費ノ總高ヲ云フ○科ストハ抵テ、出サシムルコト

此條ノ意ハ刑事裁判ニ付テノ入費ハ其ノ總高又ハ其總高ノ中幾分カナ犯罪人ニ抵テ、出サシム但シ其ノ入費高ハ別ニ規則ヲ立テ以テ之レヲ定ムルナリ

第四十六條

犯人刑ニ處セラレ又ハ放免セラレ、ト雖モ被害者ノ請求ニ對シ贓物ノ還給損害ノ賠償ヲ免カル、コトヲ得ス

〔注〕被害者トハ害ヲ加ヘテレタル人即チ物ヲ盜マレ或ハ身ヲ傷ケラレタル等ノ人ヲ云フ○請求トハ願ヒ求ムルヲ○還給トハモトクニ還シ渡スヲ○賠償トハツクナヒ返スヲ○犯罪人が刑罰ヲ抵テラレ又ハ放チ免ルサルト雖トモ被害者ガ願ヒ求ムルハ其犯罪人ハ矢張物品等ヲ返却スルノ責又ハ損害ノ償チナスノ責ハ通カレス蓋シ刑ヲ科スルト被害者ニ對スルノ義務ヲ行フトハ別アルヲ以テナリ

第四十七條 數人共犯ニ係ル裁判費用贖物ノ還給損害ノ賠償ハ共犯人ヲシテ之ヲ連帶セシム

〔注〕共犯トハ數人ニテ一緒ニ同シ罪ヲ犯スヲ云フ○連帶トハ共犯者各人ニ懸ルヲ云フ○此條ノ意ハ數人ニテ一緒ニ罪ヲ犯シタルトキノ裁判ノ入費又ハ贓物ヲモトクニ還シ致スヲト損害ヲ償ヒ返スヲハ一緒ニ犯シタル人ノ内孰レノ者ニテモ之レヲ懸ケテ出サシムルナリ

第四十八條

裁判費用贖物ノ還給損害ノ賠償ハ被害者ノ請求ニ因リ刑事裁判所ニ於テ之ヲ審判スルヲ得若シ贓物犯人ノ手ニアル時ハ請求ナシト雖モ直チニ之ヲ被害者ニ還付ス

〔注〕審判トハ吟味判斷スルヲ○此條ハ裁判ノ入費或ハ贓物還給損害ノ賠償ハ被害者ガ請ヒ求ムルニ因テ刑事ノ裁判所ニテ之レヲ吟味シテ判斷シ若シ犯人ガ贓物ヲ所持スルハ被害者ヨリ請ヒ求ムルヲナキモ所有主ニ返渡スモノナリ

第五節 刑罰計算

〔注〕刑罰ノ期限ヲ數フル方法

第四十九條 刑罰ヲ計算スルニ一日ト稱スルハ二十四時ヲ以テシ一月ト稱スルハ三十日ヲ以テシ一年ト稱スルハ曆ニ從フ

受刑ノ初日ハ時間ヲ論セス一日ニ算入シ放免ノ日ハ刑期ニ算入セス

〔注〕刑ニ抵テラレタル初日ハ何時比ナリトモ一日ト勘定シ而シテ刑終
リテ放免ルサル、日ハ刑罰ヲ抵テラレタル日數期限ノ外トス

第五十條 刑ハ裁判確定シタル後ニ非サレハ之ヲ執行スルヲ得

ス

〔注〕裁判ノ確カト定リタル後ニ非サレハ刑ヲ抵テ行フヲ得ス

第五十一條 刑期ハ刑名宣告ノ日ヨリ起算ス若シ上訴ヲ爲シタル

者ハ左ノ例ニ從フ

〔注〕宣告トハ申渡スト刑名宣告トハ何ノ刑ニ申シ付クルト罪人ニ申
シ渡スト〇起算トハ數ヘ始ムルト〇上訴トハ其上ノ裁判ヲ願フ
例ハ輕罪裁判所ノ裁判ニ服セサレハ控訴裁判ニ控訴シテ更ニ裁
判ヲ願ヒ又控訴裁判所ノ裁判ニ不服ニシテ大審院ニ上告スルガ如

キヲ云フ

一 犯人自ラ上訴シテ其上訴正當ナルトキハ前判宣告ノ日ヨリ起算ス

若シ其上訴不當ナル時ハ後判宣告ノ日ヨリ起算ス

〔注〕前判宣告トハ前度ノ裁判申渡シテ云フ後判トハ後度ノ裁判即
チ上訴ニ付テノ裁判ヲ云フ

二 檢察官ノ上訴ニ係ル者ハ其上訴正當ナルト否トチ分タス前判宣告
ノ日ヨリ起算ス

〔注〕檢察官トハ犯罪ヲ捜査シ又ハ求刑シ又ハ上訴スル等ノ職務ヲ
行フ官〇檢察官ノ上訴ニ係ルトハ檢察官カ上訴スルト云フ〇
前ノ裁判ノ仕方宜シカラサルヲ以テ前ノ裁判ヲ仕直シタルト仕
直サ、ルトチ問ハス前宣告ノ日ヨリ期限ニ入ル、ナリ

三 上訴中保釋ヲ得又ハ責付セラレタル者ハ其日數ヲ刑期ニ算入スル

ヲ得ス

〔注〕保釋トハ保證人等ヲ立テ、自由ニ釋ルシ置クヲ責付トハ親類等ノ許へ預ケ置クヲ

第五十二條 刑期限内逃走シ再ヒ捕ニ就キタル者ハ其逃走ノ日數ヲ除キ前後受刑ノ日ヲ計算ス

〔注〕刑罰ノ期限内ニ逃走シテ再ヒ捕ヘラレタル人ハ其逃走シタル日數ヲ除キテ逃走前ニ刑ヲ受ケタル日數ト再ヒ捕ヘラレタル以後ノ日數ヲ以テ算當ヲ立ツルモノナリ

第六節 假出獄

〔注〕罪人ヲ假リニ獄屋ヨリ出スヲ

第五十三條 重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタル者獄則ヲ遵守シ悔改ノ狀アル時ハ其刑期四分ノ三ヲ經過スルノ後行政ノ處分ヲ以テ假ニ出

獄ヲ許スヲ得

〔注〕悔改トハ元トノ惡心ヲ改ムルヲ行政トハ司法ト違ヒ政治ヲ執リ行フ方ノヲ云○此章ノ意ハ重罪或ハ輕罪ノ刑ニ抵テラレタル人カ獄屋ノ規則ヲ謹ミ遵守シテ元トノ惡心ヲ改メタリト見認メラル、時ハ其刑罰ニ抵ラレタル期限ノ三分ノ一丈ケヲ濟マシ過ギタル後チニハ行政官ニテノ處分ヲ以テ假リニ罪人ヲ獄屋ヨリ出スヲ得ルナリ

無期徒刑ノ囚ハ十五年ヲ經過スルノ後亦同シ

〔注〕前條同様假ニ獄屋ヨリ出スヲ云

流刑ノ囚ハ第二十一條ニ照シ幽閉ヲ免スルノ外假出獄ノ例ヲ用ヒス
〔注〕第二十一條ニ曰ク無期流刑ノ囚五年ヲ經過スレハ幽閉ヲ免シ島地ニ於テ地ヲ限リ居住セシムルヲ得○有期流刑ノ囚三年ヲ經過

スル亦同シトアリ此ノ外ニハ假ニ獄屋ヨリ出ヌトナシ

第五十四條 徒刑ノ囚ハ假出獄ヲ許サル、ト雖モ仍ホ島地ニ居住

セシム

第五十五條 假出獄ヲ許サレタル者ハ行政ノ處分ヲ以テ治産ノ禁

ノ幾分ヲ免スルコトヲ得但本刑期限内特ニ定メタル監視ニ付ス

〔注〕財産ノ内ノ幾分ヲ支配スルコトヲ許スモ附加ノ監視ハ許サス

第五十六條 假出獄中更ニ重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ直チニ出獄ヲ

停止シ出獄中ノ日數ハ刑期ニ算入スルヲ得ス

第五十七條 刑期限内更ニ重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ假出獄ヲ許サ

ス

第七節 期滿免除

〔注〕刑罰ニ遭ハセル管ナレトモ犯罪人カ他所へ脱走潜匿等ノ

コトナシテ刑罰ヲ抵テルコトハ出來ス其中チ多クノ年數過キ去
ルニ因リテ其刑ヲ免ルス但シ年數ハ第五十九六十條ニ於テ
規定ス

第五十八條 刑ノ執行ヲ遁レタル者法律ニ定メタル期限ヲ經過ス
ルニ因テ期滿免除ヲ得

〔注〕刑罰ヲ抵テ行ハル、コトヲ遁ケタル人ハ次條ニ定メ置キタル期限
ヲ過ギ去ルニ因リテ期滿免除ノ法ヲ以テ刑ヲ除カル、ナリ

第五十九條 主刑ハ左ノ年限ニ從テ期滿免除ヲ得

一死刑ハ三十年

二無期徒刑ハ二十五年

三有期徒刑ハ二十年

四重懲役重禁獄ハ十五年

五 輕懲役輕禁獄ハ十年

六 禁錮罰金ハ七年

七 拘留科料ハ一年

第六十條 剝奪公權停止公權及ヒ監視ハ期滿免除ヲ得ス

〔注〕公權ヲ取り上ケ公權ヲ行フコト中止スルコト及ヒ監視ノ刑ハ期滿免除ナシ公安維持ノ爲メナリ

附加ノ罰金ハ主刑ト共ニ期滿免除ヲ得

沒收ハ五年ヲ經テ期滿免除ヲ得但禁制物ハ期滿免除ノ限ニ在ラス

〔注〕沒收トハ官ニ取り上ケルコト○禁制物トハ官ヨリ兼テ用ユルコトヲ禁シタル物品ヲ云凡禁制物ハ何人ノ所持ト雖モ皆沒收スルモノナリ

第六十一條 期滿免除ハ刑ノ執行ヲ遁レタル日ヨリ起算ス若シ捕ニ就キ再ヒ逃走シタル時ハ其逃走ノ日ヨリ起算シ關席裁判ニ係ル時

ハ其宣告ノ日ヨリ起算ス

〔注〕關席裁判トハ當犯罪人ハ關席シテ居ラザルモ居ルト同様ニシテ裁判言渡シテスルヲ云フ

第六十二條 刑ノ執行ヲ遁レタル者ニ對シ逮捕ヲ命シタル時ハ最終ノ捕縛狀ヲ出シタル日ヨリ期滿免除ヲ起算ス

〔注〕捕縛狀トハ捕ヘ來レトノ命ヲ記シタル令狀ヲ云フ○刑罰ヲ抵テラル、コトヲ遁レタル者ヲ捕ヘルコトノ命ヲ下シタルトキハ最後ニ出シタル捕縛狀ヲ下シタル日ヲ初日ト定メテ期滿免除ノ日數ヲ算ヘ始ム

第八節 復權

〔注〕一度ヒ取り上ケタル權利ヲ後ニ元トノ通りニ復ス

第六十三條 公權ヲ剝奪セラレタル者ハ主刑ノ終リタル日ヨリ五年ヲ經過スルノ後其情狀ニ因リ將來ノ公權ヲ復スルコトヲ得

〔注〕將來トハ公權ヲ復サル、日ヨリ後ノコト云フ
主刑ノ期滿免除ヲ得タル者ハ監視ニ付シタル日ヨリ五年ヲ經過スル
ノ後亦同シ

第六十四條 大赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ直チニ復權ヲ得特赦ニ
因テ免罪ヲ得タル者ハ赦狀中記載スルニ非サレハ復權ヲ得ス
赦ニ因テ復權ヲ得タル者ハ自ラ監視ヲ免シタル者トス

〔注〕赦トハ天子ノ權ヲ以テ罪ヲ免サ、ルコト○大赦トハ一般ニ罪ヲ赦
免スルコト○特赦トハ特別ニ罪ヲ赦免スルコト

第六十五條 復權ハ勅裁ニ非サレハ之ヲ得可カラズ

〔注〕勅裁トハ天子ヨリ御直ニ決斷アラセラル、コト

第二章 加減例

〔注〕刑ヲ重クシ或ハ輕クスル方法

第六十六條 法律ニ於テ刑ヲ加重減輕ス可キ時ハ後ノ數條ニ記載
シタル例ニ照シテ加減ス但加ヘテ死刑ニ入ルコトヲ得ス

第六十七條 重罪ノ刑ハ左ノ等級ニ照シテ加減ス

一死刑

二無期徒刑

三有期徒刑

四重懲役

五輕懲役

第六十八條 國事ニ關スル重罪ノ刑ハ左ノ等級ニ照シテ加減ス

一死刑

二無期徒刑

三有期徒刑

四重禁獄

五輕禁獄

第六十九條

輕懲役ニ該ル者減輕ス可キ時ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處スルヲ以テ一等ト爲ス
輕禁獄ニ該ル者減輕ス可キ時ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處スルヲ以テ一等ト爲ス

第七十條

禁錮罰金ニ該ル者減輕ス可キ時ハ各本條ニ記載シタル刑期金額ノ四分ノ一ヲ減スルヲ以テ一等ト爲シ其加重ス可キ時ハ亦四分ノ一ヲ加フルヲ以テ一等ト爲ス

〔注〕禁錮或ハ罰金ノ刑ニ遭フ可キ人ノ罪ヲ減輕スルニハ各々其

本條ニ記載シタル刑罰ノ期限ノ長サノ四分ノ一ヲ短クシ或ハ罰金高ノ四分ノ一ヲ減少スルヲ以テ一等ヲ減輕シタルトナシ其加ヘテ重

クスルトモ矢張刑期ハ四分ノ一ヲ長クシ罰金ハ四分ノ一ヲ増スヲ以テ一等ヲ重シタルトス

輕罪ノ刑ハ加ヘテ重罪ニ入ルヲ得ス但禁錮ハ加ヘテ七年ニ至ルヲ得

〔注〕元來輕罪犯ナレバ何程加ヘタル逆モ重罪ノ刑ヲ科スルヲ出來ケスナリ但シ禁錮ハ五年迄ナレバ加重スヘキ犯人ナレハ七年迄ニスルヲ得

第七十一條

禁錮ヲ減盡シタル時ハ拘留ニ處シ罰金ヲ減盡シタル時ハ科料ニ處ス禁錮罰金ヲ減シテ其短期十日以下寡數一圓九十五錢以下ニ及フ時ハ亦拘留科料ニ處スルヲ得

〔注〕減盡トハ此上ニ減スヲ得ザルヲ云フ○禁錮ノ刑ヲ減シ尽シタルトキハ拘留ノ刑ニ處スルモノトス罰金ノ刑ヲ減ラシ尽シタルト

キハ科料ノ刑ニ處スルモノトス禁錮ヲ輕クシ減ラシテ其短カク詰マリタル期限十日ヨリ短ク又々罰金高ヲ減ラシテ其寡ナク減リ詰マリテ一圓九十五錢ヨリモ少ナクナリタルトキハ矢張り刑ヲ變シテ禁錮ヲ拘留ニ直シ罰金ヲ科料ニ直シテ拘留科料ノ二罪ヲ併科スルコトアリ

第七十二條 拘留科料ニ該ル者ハ加減ス可キ時ハ禁錮罰金ノ例ニ照シ其四分ノ一ヲ加減スルヲ以テ一等ト爲ス

違警罪ノ刑ハ加ヘテ輕罪ニ入ルコトヲ得ス但拘留ハ加ヘテ十三日ニ至ルコトヲ得減シテ一日以下ニ降スコトヲ得ス科料ハ加ヘテ貳圓四十錢ニ至ルコトヲ得減シテ五錢以下ニ降スコトヲ得ス

〔注〕違警罪ノ刑ハ重クシテモ輕罪ノ刑ヲ科スルコトヲ得ス但シ拘留ノ刑ハ加ヘ重クシテモ十二日ヨリ長クナル様ニスルコトヲ得ス減

シ輕クシテモ一日ヨリ短クスルコトヲ得ス科料ハ加ヘ重クシテ二圓四十錢迄多クスルコトヲ得減シ輕クシテモ五錢ヨリ下ニスルコトヲ得ス

第七十三條 禁錮拘留ヲ加減スルニ因テ其期限ニ零數ヲ生シ一日ニ滿サル時ハ之ヲ除棄ス

〔注〕禁錮又ハ拘留ノ刑ヲ加重シ又ハ減輕スルニ何時間又ハ何分時等ノ零數カ出來テ一日丈ケノ數ニ至ラザルトキハ之レヲ取ラズ

第七十四條 附加ノ罰金ハ主刑ニ從テ加減シ其金額ノ四分ノ一ヲ加減スルヲ以テ一等ト爲ス若シ減シ盡シタル時ハ止々主刑ヲ科ス

〔注〕附加刑ノ罰金ハ其主刑ニ從フテ加ハリ又ハ減ス而シテ之レヲ加減スルニハ矢張り其惣罰金高ノ四分ノ一ヲ加フルヲ以テ一等ヲ重クストナシ其四分ノ一ヲ減スルヲ以テ一等ヲ輕クストナス若シ罰金

ヲ減シ尽クシテ仕舞タルトキハ唯々主將ヲ抵ツルノミニ二區以下ヲ
附加スルヲ得ス

第四章 不論罪及ヒ減輕

第一節 不論罪及ヒ宥恕減輕

〔注〕不論罪トハ其罪ヲ構サレト○宥恕減輕トハ罪ヲ宥メ恕ル
シテ減輕シ輕クスルヲ云フ

第七十五條 抗拒ス可カラサル強制ニ遇ヒ其意ニ非サルノ所爲ハ
其罪ヲ論セス

〔注〕何分ニモ拒キ止ム可ラサル無理ノ押付ケニ出逢ヒテ其心中ヨリ
出タルニ非スシテ己ムヲ得サルノ所爲ハ不論罪トス

天災又ハ意外ノ變ニ因リ避ク可カラサル危難ニ遇ヒ自己若クハ親屬
ノ身體ヲ防衛スルニ出タル所爲亦同シ

〔注〕天然自然ノ禍災又ハ思ヒモ依ラヌ事變ニ因リテ何分ニモ避ケ遠
ガレ、トモ出来ザル程ノ危キ難儀ニ出逢ヒテ自身若クハ其親類ノ
身體ヲ防キ衛ルニ付テ仕出シタル所爲モ前項ト同様ナリ

第七十六條 本屬長官ノ命令ニ從ヒ其職務ヲ以テ爲シタル者ハ其
罪ヲ論セス

〔注〕己レノ現今附屬シテ居ル長官ノ正當ナル指シ圖ニ從ヒテ己レノ
職務ヲ以テ爲シタル行爲ハ其罪ヲ構ハス

第七十七條 罪ヲ犯ス意ナキノ所爲ハ其罪ヲ論セス但法律規則ニ
於テ別ニ罪ヲ定メタル者ハ此限ニ在ラス

〔注〕罪ヲ犯サント欲スルノ心ナクシテ自然ト犯罪ト相ヒ成リタル所
爲ハ其罪ヲ論セス但法律規則ニ犯スノ意アリシト否トニ關セス
罰スル所爲ヲ別段定メタルモノハ其罪ヲ論スルナリ

罪ト爲ル可キ事實ヲ知ラズシテ犯シタル者ハ其罪ヲ論セス

(注)罪トナル事柄トハ知ラズニ爲シタル所爲ハ其罪ヲ論セス

罪本重ナル可クシテ犯ス時知ラサル者ハ其重キニ從テ論スルヲ得

(注)其所爲ヲ以テ罰スレハ元來重刑ニ抵ツル筈ナレトモ其罪ヲ犯ス

時輕キ罪ヲ犯スノ意ニテ時ニ其重クナル事ヲ知ラザルモノハ其ノ

重キニ從ヒテ論スルヲ得ザルナリ

法律規則ヲ知ラサルヲ以テ犯スノ意ナシト爲スヲ得ス

第七十八條 罪ヲ犯ス時知覺精神ノ喪失ニ因テ是非ヲ辨別セサル

者ハ其罪ヲ論セス

(注)知覺トハ物事ヲ感シ悟ルノ精神トハ人ノ魂ヒ心ヲ云フ○罪ヲ犯ス時ニ當リテ少シモ感シ悟ルノ力ナク或ハ精神ヲ取り失フタ

ル場合ヲ云フ豫テ識別心ノ乏キ者ヲ云フニアラサルナリ

第七十九條 罪ヲ犯ス時十二歳ニ滿サル者ハ其罪ヲ論セス但滿八

歳以上ノ者ハ情狀ニ因リ滿十六歳ニ過キサル時間之ヲ懲治場ニ留置

スルヲ得

第八十條 罪ヲ犯ス時滿十二歳以上十六歳ニ滿サル者ハ其所爲是

非ヲ辨別シタルト否トヲ審案シ辨別ナクシテ犯シタル時ハ其罪ヲ論

セス但情狀ニ因リ滿二十歳ニ過キサル時間之ヲ懲治場ニ留置スルヲ

得

若シ辨別アリテ犯シタル時ハ其罪ヲ宥恕シテ本刑ニ二等ヲ減ス

第八十一條 罪ヲ犯ス時滿十六歳以上二十歳ニ滿サル者ハ其罪ヲ

宥恕シテ本刑ニ一等ヲ減ス

第八十二條 瘖啞者罪ヲ犯シタル時ハ其罪ヲ論セス但情狀ニ因リ

五年ニ過キサル時間之ヲ懲治場ニ留置スルヲ得

第八十三條 違警罪ハ滿十六歳以上二十歳ニ滿サル者ト雖モ其罪

ヲ宥恕スルヲ得ス

滿十二歳以上十六歳ニ滿サル者ハ其罪ヲ宥恕シテ本刑ニ一等ヲ減ス

十二歳ニ滿サル者及ヒ瘖啞者ハ其罪ヲ論セス

〔注〕瘖啞者及ヒ幼者ノ其罪ヲ論セサルモ雖モ放縱隨意再ヒ罪ヲ犯

スノ恐レアル場合ニハ之ヲ懲治場ニ留置スルナリ

第八十四條 此節ニ記載スルノ外特別ノ不論宥恕減輕ハ各本條ニ

於テ之ヲ記載ス

第二節 自首減輕

第八十五條 罪ヲ犯シ事未タ發覺セサル前ニ於テ官ニ自首シタル

者ハ本刑ニ一等ヲ減ス但謀殺故殺ニ係ル者ハ自首減輕ノ限ニ在ラス

〔注〕本刑トハ自首シタル人ノ犯セル罪ニ抵ツベキ刑ヲ云フ

第八十六條 財産ニ對スル罪ヲ犯タル者自首シテ其贓物ヲ還給シ

損害ヲ賠償シタル時ハ自首減輕ノ外仍ホ本刑ニ二等ヲ減ス其全部ヲ

還償セスト雖モ半數以上ヲ還償シタル時ハ一等ヲ減ス

〔注〕財産ニ對スル罪ヲ犯ストハ財産ヲ盜ミ取ルカ又ハ財産ヲ破損ス

ルガ如キ類ヲ云フ○自首ノカドニテ一等ヲ減スル外其上ニ猶ホ又

タ二等ヲ減スルヲナリ

第八十七條 財産ニ對スル罪ヲ犯シ被害者ニ首服シタル者ハ官ニ

自首スルト同ク前二條ノ例ニ照シテ處斷ス

〔注〕被害者ニ首服シタル者トハ被害者ニ向テ白狀シテ畏レ入リタル

ト官ニ自首スルト被害者ニ自首スルトハ刑法之ヲ同一ナリトス

第八十八條 此節ニ記載スルノ外本條別ニ自首ノ例ヲ掲ケタル者

ハ各其本條ニ從フ

第四節 酌量減輕

〔注〕罪ヲ犯シタル情狀ヲ斟酌シテ刑ヲ輕クシ減スルヲ

第八十九條 重罪輕罪違警罪ヲ分テ所犯情狀原諒ス可キ者ハ酌量シテ本刑ヲ減輕スルヲ得

〔注〕罪ヲ犯シタルノ偶然ナル情實ニ出タルハ刑ヲ減スルヲ得ルナリ
法律ニ於テ本刑ヲ加重シ又ハ減輕ス可キ者ト雖モ其酌量ス可キ時ハ仍ホ之ヲ減輕スルヲ得

〔注〕刑ヲ加ヘテ重クシ又ハ減シ輕クス可キ罪ナルヲ法律ノ定メアルモノタリトモ犯シタル情狀ヲ斟酌シ科ス可キ本刑ヨリ一二等ヲ減シ輕クスルヲ得ルナリ

第九十條 酌量減輕ス可キ者ハ本刑ニ一等又ハ二等ヲ減ス

第五章 再犯加重

〔注〕再ヒ罪ヲ犯シタルニ付キ刑罰ヲ加ヘ重クスルヲ

第九十一條 先ニ重罪ノ刑ニ處セラレタル者再犯重罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ

〔注〕再犯重罪ニ該ルトハ二度メニ犯シタル罪ノ重罪ナルヲ云フ〇
本刑ニ一等ヲ加フトハ其二度メニ犯シタル重罪ノ相當ノ刑ニ一等ヲ加ヘ重クスルヲナリ

第九十二條 先ニ重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタル者再犯輕罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ

第九十三條 先ニ違警罪ノ刑ニ處セラレタル者再犯違警罪ニ該ル時ハ本刑ニ一等ヲ加フ但一年内再ヒ其違警罪裁判所ノ管轄地内ニ於テ犯シタル時ニ非サレハ再犯ヲ以テ論スルヲ得ス

〔注〕先ニ違警罪云云ハ前條ト同シ但同シ違警罪裁判所ノ管轄シテオ
ル土地ノ區内ニ於テ一ケ年ノ間々兩度以上犯シタルトキニアラザ
レハ二度メノ犯罪ヲ再犯トシテ一等ヲ重クスルヲ得サルナリ

第九十四條 再犯加重ハ初犯ノ裁判確定ノ後ニ非サレハ之ヲ論ス
ルヲ得ス

〔注〕裁判ノ確定トハ刑ヲ宣告シタル后ニ其宣告ヲ動かスヲ得サル
ニ至リタルヲ云フ○未ダ裁判確定ニ至ラサル内ニ又一罪ヲ犯シ
タル時ハ數罪俱發ノ條ニ依テ處分ス

第九十五條 刑期限内再ヒ罪ヲ犯スニ因リ刑ヲ宣告シタル時ハ先
ツ其定役ニ服ス可キ者ヲ執行シ定役ニ服セサル者ヲ後ニス若シ初犯
再犯共ニ定役ニ服スル刑ニ該ル時又ハ共ニ定役ニ服セサル刑ニ該ル
時ハ先ツ其重キ者ヲ執行ス

〔注〕一度罪ヲ犯シテ其刑罰ノ未ダ終ラサル期限内ニ再度罪ヲ犯シ
タルニ因テ刑ヲ申付ケタルトキハ先ツ其使役アル刑ノ方ヲ該テ行
フナリ再度共ニ定役アル刑デアルトキ又ハ兩度共モニ定役ニナラ
ザル程ノ刑デアルトキハ刑罰宣告ノ前後ニ拘ハラヌ最初ニ其重キ
方ノ刑ヲ抵テ行フナリ

罰金科料ニ該ル者ハ順序ニ拘ハラヌ各之ヲ徵收ス

〔注〕罰金ト科料トノ二ツノ刑ヲ科シタルキハ其輕重ノ順序ヲ別タズ
兩方共ニ之レヲ取リ上ゲルナリ

第九十六條 陸海軍裁判所ニ於テ判決ヲ經タル者再ヒ重罪輕罪ヲ
犯シタル時ハ初犯ノ非常律ニ從ヒ處斷シタル者ニ非サレハ再犯ヲ以
テ論スルヲ得ス

〔注〕陸軍或ハ海軍ノ裁判所ニ於テ已ニ一度罪ヲ科セラレタル人が再

ビ重罪或ハ輕罪ノ内チヲ犯シタルトキハ最前犯シタル罪ヲ陸軍或ハ海軍ノ軍律ヲ以テ處分シタルモノデナクシテ此刑法ニ定ムル重輕罪ノ刑ヲ以テ處分シタルモノニ非サレバ後チニ犯シタル罪ヲ再犯トシテ論スルコトヲ得ス

第九十七條 大赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ再ヒ罪ヲ犯スト雖モ再犯ヲ以テ論スルコトヲ得ス

第九十八條 三犯以上ノ者ト雖モ其加重ノ法ハ再犯ノ例ニ同シ

第六章 加減順序

〔注〕罪ヲ加ヘ重クシ又タハ減ラシ輕クスルコトノ順序ノ定メ

第九十九條 犯罪ノ情狀ニ因リ總則ニ照シ同時ニ本刑ヲ加重減輕ス可キ時ハ左ノ順序ニ從テ其刑名ヲ定ム但從犯及ヒ未遂犯罪ノ減輕其他各本條ニ記載スル特別ノ加重減輕ハ其加減シタル者ヲ以テ本刑

ト爲ス

一再犯加重

二宥恕減輕

三自首減輕

四酌量減輕

第七章 數罪俱發

第一百條 重罪輕罪ヲ犯シ未タ判決ヲ經スニ罪以上俱ニ發シタル時ハ一ノ重キニ從テ處斷ス

〔注〕重罪或ハ輕罪ノ中孰レチカ犯シテ未タ其ノ裁判確定セサル間タ

ニ又タ其他ノ罪狀相ヒ顯ハレテ二ツ以上ノ罪條一時ニ相發シタル

トキハ一ツノ重キ方ニ從フテ處分シ輕キ方ハ刑ヲ科セス

重罪ノ刑ハ刑期ノ長キ者ヲ以テ重ト爲シ刑期ノ等シキ者ハ定役アル

者ヲ以テ重ト爲ス

〔注〕二罪以上一同ニ顯ハレタル罪カ孰レモ重罪ナレハ刑ニ抵テラレ、期限ノ長キモノヲ以テ重シト定メ刑ノ期限ノ孰レモ同キモノハ定リ通りノ使役アル方ヲ以テ重シトシテ之ヲ科スルナリ

輕罪ノ刑ハ其所犯情狀最重キ者ニ從テ處斷ス

〔注〕二罪以上俱ニ發覺タル罪ガ孰レモ輕罪ノ刑ニ當タルトキハ其ノ犯シタル實情ト形狀トノ重キ方ヲ取リテ處分ス

第一百一條 違警罪二罪以上俱ニ發シタル時ハ各其刑ヲ科ス若シ重罪又ハ輕罪ト俱ニ發シタル時ハ一ノ重キニ從フ

〔注〕違警罪ガ二罪以上俱ニ發覺シタルトキハ重罪或ハ輕罪ノ二罪俱發ト違ヒテ二ツノ罪トモ抵テ行フ若シ違警罪ガ重罪又ハ輕罪ト俱ニ發覺シタルトキハ他例ノ通り重キ方面已ナテ以テ抵ツ

第一百一條 一罪前ニ發シ已ニ判決ヲ經テ餘罪後ニ發シ其輕ク若クハ等シキ者ハ之ヲ論セズ其重キ者ハ更ニ之ヲ論シ前發ノ刑ヲ以テ後發ノ刑ニ通算ス但前發ノ刑罰金科料ニ該リ已ニ納完シタル者ハ第二十七條ノ例ニ照シ折算シテ後發ノ刑期ニ通算ス

〔注〕通算トハ譬ヘハ最初ニ發覺シタル刑ハ懲役四十日ニ當リ後チニ發覺シタル刑ハ懲役五十日ニ當タルトキハ前ノ四十日ト後ノ五十日トノ差十日ヲ前ノ四十日ニ加フル而已ナリ四十日ニ五十日ヲ加ヘテ九十日ト爲ス一ニハ非ス〇一ツノ罪科最初ニ發覺シテ已ニ裁判済ニナリテ後チ其他ノ罪科又タ發覺シタルトキハ其ノ後チニ發覺シタル罪科ガ最前ノ罪ヨリモ輕キカ又ハ同キトキハ其儘置キテ之レヲ擧ハザルナリ其重キモノハ復タ更ニ之レヲ論シテ前ニ發覺シタル刑ヲ以テ後チニ發覺シタル刑ト通算ス〇但シ前ニ發覺シタ

ル所刑ハ罰金或ハ科料ニ當リ已デニ其金額チ上納シタル者ハ第二十七條ノ例罰金ハ裁判確定ノ日ヨリ一月内ニ納完セシム若シ限内納完セサル者ハ一圓チ一日ニ折算シ之レヲ輕禁錮ニ換フ其一圓ニ滿タザル者ト雖トモ仍ホ一日ニ計算ス云云ヲ見合セテ差引勘定シテ後ニ發覺シタル刑ノ期限内ニ通算スルナリ
若シ前發ノ罪ヲ判決スル時未タ發セサル罪再犯ノ罪ト俱ニ發シタル者ハ其再犯ト比較シ一ノ重キニ從ヒ前發ノ刑ヲ通算セス

〔注〕若シモ最前ニ發覺シタル罪ヲ判決スルトキニ未タ曾テ發覺セザリシ餘罪カ又タ後チニ再ヒ犯シタル罪ト俱ニ發覺シタルモノハ其ノ再ヒ目ニ犯シタル罪ト比較テ再犯加重ノ片ニ數罪俱發例ヲ用テ一ツノ重キ方ニ從ヒ罪ヲ抵ツ

第二百三條 數罪俱ニ發シ一ノ重キニ從フ時ト雖モ其沒収及ヒ徵價

ノ處分ハ各本法ニ從フ

〔注〕數多ノ罪條俱ニ一時ニ發覺シテ一ツノ重キ方ニ從ヒ處分スルトキト雖トモ其ノ物件ヲ取り上クルヲ及ヒ償ヒ金等取立テルノ處分ニ至リテハ沒收ハ沒收徵價ハ徵價其法ニ從フナリ

第八章 數人共犯

〔注〕二人以上ニテ一ノ罪ヲ犯ス之チ數人共犯ト云フ

第一節 正犯

〔注〕數人共ニ犯罪ヲシタルトモ其中ノ主トナリテ犯シタル者之チ正犯ト云フ

第二百四條 二人以上現ニ罪ヲ犯シタル者ハ皆正犯ト爲シ各自ニ其

刑ヲ科ス

第二百五條 人ヲ教唆シテ重罪輕罪ヲ犯サシメタル者ハ亦正犯ト爲

第百六條 正犯ノ身分ニ因リ別ニ刑ヲ加重ス可キ時ハ他ノ正犯從犯及ヒ教唆者ニ及ホスヲ得ス

[注]正犯ノ身分トハ子孫ノ祖父母父母ニ於ケルカ如キ類ヲ云フ〇別ニ刑ヲ加重ス可キトハ例トヘハ正犯ノ甲ナルモノ其祖父母又ハ父母ヲ他人タル乙丙二人ノ者ト共ニ毆打スル片ハ甲一人ノ身分カ

乙丙二人ニ異ナルヲ以テ是非トモ刑ヲ加ヘ重クス可キナリ然レモ

乙丙二人ハ其刑ヲ加ヘ重クセラル、トナキノ類ノ如シ

第百七條 犯人ノ多數ニ因リ刑ヲ加重ス可キ時ハ教唆者ヲ算入シテ多數ト爲スヲ得ス

[注]共ニ犯罪ヲシタル連ソノ人数カ多キニ因テ犯人ノ罪ヲ加ヘ重クス可キ時ハ教唆者ヲ其人數ノ中ニ數ヘ込ソテ多數トシ皆テ刑ヲ加

重スル法ニ依ルヲ得サルナリ

第百八條 事ヲ指定シテ犯罪ヲ教唆スルニ當リ犯人教唆ニ乘シ其指定シタル以外ノ罪ヲ犯シ又ハ其現ニ行フ所ノ方法教唆者ノ指示シタル所ト殊ナル時ハ左ノ例ニ照シテ教唆者ヲ處斷ス

[注]事ヲ指圖シテ人ニ犯罪ヲ教ヘス、ムルニ當リ犯罪スル人ハ其教唆ニ浮カサレテ其指圖シタルヨリ外ノ罪ヲ犯シ又ハ犯罪人が現在爲シ行フ所ノ仕方ハ教唆者ノ指圖シタル所ト間違ヒ外ノヲナルトキハ左ニ記載シタル條例ヲ見合セテ教唆者ヲ處分スルヲ云フ

一所犯教唆シタル罪ヨリ重キ時ハ止々其指定シタル罪ニ從テ刑ヲ科ス

[注]犯人ガ犯シタル罪科教唆者ガス、メタル所爲ヨリモ重キ罪ヲ犯シタルトキニハ其教唆者ハ止々其指圖シタル罪ニ付テ刑ヲ抵

ツルナリ例ハ教唆スル所ハ毆打ニシテ犯人故殺ヲ行フモ故殺
教唆シタリトシテ罰セサルガ如シ

二所犯教唆シタル罪ヨリ輕キ時ハ現ニ行フ所ノ罪ニ從テ刑ヲ科ス

〔注例〕ハハ教唆者ガス、メタル所ハ重罪ノ所爲ナリシト雖モ犯人ガ
輕罪ヲ犯シタルニ因リ其輕罪ノ教唆者トシテ罰セラル、ノ類ナ
リ

第二節 從犯

〔注〕罪ヲ犯ス主犯即チ正犯人アリテ之ヲ助ケ罪ヲ犯ス者ヲ云
フ

第百九條 重罪輕罪ヲ犯スヲ知テ器具ヲ繪與シ又ハ誘導指示シ
其他豫備ノ所爲ヲ以テ正犯ヲ幫助シ犯罪ヲ容易ナラシメタル者ハ從
犯ト爲シ正犯ノ刑ニ一等ヲ減ス但正犯現ニ行フ所ノ罪從犯ノ知ル所

ヨリ重キ時ハ止タ其知ル所ノ罪ニ照シ一等ヲ減ス

〔注〕器具ヲ繪與スルトハ犯罪ヲ爲スニ付テ入用ナル器物ヲ與フルコ
ト云フ○誘導指示トハ手引案内等ヲ云フ○豫備ノ所爲トハ前以テヨ
リ用意ノ所爲^{シヤサ}ヲシテオク^フヲ云フ○正犯ヲ幫助シトハ犯罪シタル
人ヲ加勢^{カセ}ヲシタルコトヲ云フ○其他凡テ人ノ罪ヲ犯スヲ知テ容易^{ヤス}犯
罪ヲ遂ケシムル爲メニスルコトヲ云フ○但シ云々ハ正犯人カ現在爲
シ行ヒタル所ノ罪ハ從犯人ノ承知シタル所ヨリモ重キトキニハ止
タ從犯人ハ知リテオリシ丈ケノ罪ニ照シ合セテ一等ヲ減シ輕クス
ルヲ云フ

第百十條 身分ニ因リ刑ヲ加重ス可キ者從犯ト爲ル時ハ其重キニ
從テ一等ヲ減ス

〔注例〕ハハ子ノ父ニ對スル罪ノ如キ假ハ從犯人ト爲ルト雖モ子孫タ

ル者ニハ刑ヲ加重スルヲ以テ從犯減等ノ方法ハ其加重スル刑ニ一
等ヲ減シ輕クスルノ類ノ如シ

正犯ノ身分ニ因リ刑ヲ減免ス可キ時ト雖モ從犯ノ刑ハ其輕キニ從テ
減免スルコトヲ得ス

〔注〕正犯人ノ身分ニ因リ刑ヲ減ラシ免ス可キ(即チ正犯人ガ幼少ナル
ナレハ減免スル等ノ如キ)云フ時ニテモ從犯人ノ刑ハ正犯人ニ倣
ヒ輕クセス所犯本罪ニ一等ヲ減スルノミナルヲ云フ

第九章 未遂犯罪

〔注〕犯罪ヲ爲サントシテ罪ヲ爲シ遂ケザルヲ云

第百十一條 罪ヲ犯サントシテ謀リ又ハ其豫備ヲ爲スト雖モ未タ其
事ヲ行ハサルモノハ本條別ニ刑名ヲ記載スルニ非サレハ其刑ヲ科セ
ス

第百十二條 罪ヲ犯サントシテ已ニ其事ヲ行フト雖モ犯人意外ノ

障礙若クハ舛錯ニ因リ未タ遂ケサル時ハ已ニ遂ケタル者ノ刑ニ一等
又ハ二等ヲ減ス

〔注〕罪ヲ犯サントシテ已ニ其犯罪ノ所爲ヲ行フタレトモ犯人ニ於テ
思ヒ寄ラサリシ差シ障ハリノ爲メ若クハ間違ヒガ出來テ未タ犯罪
ノ目的ヲ仕遂ゲザルトキハ已テニ其目的ヲ仕遂ゲタルキニ科ス可
キ刑ニ一等又ハ二等ヲ減ラシ輕クスルヲ云フ

第百十三條 重罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ前條ノ例ニ照
シテ處斷ス

輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ本條別ニ記載スルニ非サレハ
前條ノ例ニ照シテ處斷スルコトヲ得ス

違警罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ其罪ヲ論セス

第十章 親屬例

第百十四條 此刑法ニ於テ親屬ト稱スルハ左ニ記載シタル者ヲ云

フ

一 祖父母父母夫妻

二 子孫及ヒ其配偶者

(注)配偶トハ夫婦ノフナリ配偶者トハ夫ヨリ視レハ婦ヲ配偶者ト云

ヒ婦ヨリシテ視レハ夫ヲ云フナリ

三 兄弟姉妹及ヒ其配偶者

四 兄弟姉妹ノ子及ヒ其配偶者

五 父母ノ兄弟姉妹及ヒ其配偶者

六 父母ノ兄弟姉妹ノ子

七 配偶者ノ祖父母父母

八 配偶者ノ兄弟姉妹及ヒ其配偶者

九 配偶者ノ兄弟姉妹ノ子

十 配偶者ノ父母ノ兄弟姉妹

第百十五條 祖父母ト稱スルハ高曾祖父母外祖父母同シ父母ト稱

スルハ繼父母嫡母同シ子孫ト稱スルハ庶子曾玄孫同シ兄弟姉妹ト稱

スルハ異父異母ノ兄弟姉妹同シ

養子其養家ニ於ル親屬ノ例ハ實子ニ同シ

第一編終り

注釋者謹テ白ス刑法ハ國家ノ大典ニシテ苟モ輕忽ニ註釋ス可ラス
又淺學ノ能ク解釋說明シ得ヘキ者ニ非ス且ヤ新刑法ノ如キハ我國
從來ノ刑典ト大ニ其制ヲ殊ニスルヲ以テ僅々數日間ニ淺學輩カ逐
條詳解スル能ハサルハ勿論ナリ今少ク解ヲ付スルモ誤謬ハ固ヨリ
免レサル所乞フ看官之ヲ叱正セヨ

○第二編 公益ニ關スル重罪輕罪

〔注〕凡ソ利益ヲ別テ公益ト私益トノ二トス私益ハ一人一個ニ係ル
利益ニシテ公益ハ社會一般ノ利益ナリ此編ハ即チ其社會一般ノ
利益ニ關係シタル重罪ト輕罪トノ正條ヲ記載セリ

第一章 皇室ニ對スル罪

〔注〕皇室トハ天皇三后皇太子皇族ヲ云フ

第百十六條 天皇三后皇太子ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ加ヘントシタ
ル者ハ死刑ニ處ス

〔注〕天皇トハ御宇天皇太上天皇ヲ云フ○三皇トハ太皇太后皇太后后
宮ヲ云フ○危害トハ危傷暴害ヲ云フ

第百十七條 天皇三后皇太子ニ對シ不敬ノ所爲アル者ハ三月以上
五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

皇陵ニ對シ不敬ノ所爲アル者亦同シ

〔注〕不敬ノ所爲トハ輕シシ侮ドル所爲即チ無禮ノ事ヲ行フヲ云フ〇

皇陵トハ先世御代々ノ天皇ノ御墓ヲ云フ

第百十八條 皇族ニ對シ危害ヲ加ヘタル者ハ死刑ニ處ス其危害ヲ

加ヘントシタル者ハ無期徒刑ニ處ス

〔注〕皇族トハ皇孫及ヒ親王方等天子ノ御一族ヲ云フ

第百十九條 皇族ニ對シ不敬ノ所爲アル者ハ二月以上四年以下ノ

重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百二十條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六

月以上二年以下ノ監視ニ付ス

〔注〕輕罪ナルハ其刑期滿限ノ日ヨリ監視ニ付セラレハナリ

第二章 國事ニ關スル罪

〔注〕此章ニハ國家ノ政道ニ關係スル罪條ヲ記ス

第一節 內亂ニ關スル罪

〔注〕內亂トハ國內ダケノ擾亂ヲ云フ

第百二十一條 政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊亂

スルヲテ目的ト爲シ內亂ヲ起シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

〔注〕顛覆トハ引キンラ反スト〇僭竊トハミダリニ押領スルヲ〇朝憲

トハ朝廷ニ於テ定メタル法度ノヲ〇紊亂トハミダルト〇此等ノ罪

其犯ス所ハ皆國家ノ安危ニ關係スルモノトス

一 首魁及ヒ教唆者ハ死刑ニ處ス

〔注〕首魁トハ頭ヲ立ツ者〇教唆トハ人ヲス、メテ罪ヲ犯サシムル者

二 群衆ノ指揮ヲ爲シ其他樞要ノ職務ヲ爲シタル者ハ無期徒刑ニ處シ

其情輕キ者ハ有期流刑ニ處ス

〔注〕群衆トハ内亂ニ與ミシテ集マリタル人數ノ一〇樞要トハ大切ナル一〇此項ハ内亂ニ與ミシタル人數ヲ指圖シ又其他内亂ヲ起スニ付キ大切ノ仕事ヲナス者ノ罪情ヲ量テ有期又ハ無期ノ流刑ニ處スルヲ云

三兵器金穀ヲ資給シ又ハ諸般ノ職務ヲ爲シタル者ハ重禁獄ニ處シ其情輕キ者ハ輕禁獄ニ處ス

〔注〕資給トハ與フル一〇職務トハ内亂ヲ起スニ付テ或ル事ヲ擔當スルヲ云

四教唆ニ乘シテ附和隨行シ又ハ指揮ヲ受ケテ雜役ニ供シタル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス

〔注〕附和トハ同意スル一〇隨行トハ附キ從ヒ行ク一〇雜役ニ供シトハ種々ノ事ニ使役セラル、ヲ云フ此輩固ヨリ内亂ヲ起スニ付キ雷

同シタル者ニ過キス故ニ其刑亦甚タ輕シ

第二百二十二條 内亂ヲ起スノ目的ヲ以テ兵器彈藥船舶金穀其他軍備ノ物品ヲ劫掠シタル者ハ已ニ内亂ヲ起シタル者ノ刑ニ同シ

〔注〕劫掠トハオドシシカケテカストメ取ル一

第二百二十三條 政府ヲ變亂スルノ目的ヲ以テ人ヲ謀殺シタル者ハ兵ヲ舉ルニ至ラスト雖モ内亂ト同ク論シ其教唆者及ヒ下手者ヲ死刑ニ處ス

〔注〕下手者トハ已ノ手ニカケ人ヲ殺シタル者ヲ云フ

第二百二十四條 前三條ノ罪ハ未遂犯罪ノ時ニ於テ乃チ本刑ヲ科ス

〔注〕未遂犯罪ノ一ハ第一百一條以下ニ在リ〇前第二百一十一二十二十三條ノ罪ヲ罰スルニハ未タ其目的ヲ遂ケサル者ニテモ尙ホ其本

刑ヲ以テ罰スルナリ

第二百二十五條

兵隊ヲ招募シ又ハ兵器金穀ヲ準備シ其他内亂ノ豫備ヲ爲シタル者ハ第二百二十一條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

内亂ノ陰謀ヲ爲シ未タ豫備ニ至ラサル者ハ各二等ヲ減ス

〔注〕招募トハ呼ビ集ムルヲ〇準備トハ用意シテオクヲ〇豫備トハ前

以テ備立チスルヲ陰謀トハ密々ノ謀ヲ云フ

第二百二十六條

内亂ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲スト雖モ未タ其事ヲ行ハサル前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ本刑ヲ免シ六月以上三年以下ノ

監視ニ付ス

第二百二十七條

内亂ノ情ヲ知テ犯人ニ集會所ヲ給與シタル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス

〔注〕情ヲ知ルトハ内亂ヲ起ス情實ヲ知ルヲ云フ

第二百二十八條

内亂ニ乘シテ人ノ身體財産ニ對シ内亂ノ目的ニ關セサル重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ通常ノ刑ニ照シ重キニ從テ處斷ス

〔注〕通常ノ刑トハ内亂ノ罪トシテ抵ツヘキ刑ニ非ス其犯シタル通常

ノ犯罪ヲ罰スルノ刑ヲ云フ但内亂ノ刑ト他ノ重罪輕罪ノ刑ト孰レカ

其重キ方ノ刑ニ處スルナリ

第二節

外患ニ關スル罪

〔注〕外患トハ外國ニ關係スル罪ヲ云フ

第二百二十九條

外國ニ與シテ本國ニ抗敵シ又ハ外國ト交戰中同盟國ニ抗敵シ其他本國ニ背叛シテ敵兵ニ附屬シタル者ハ死刑ニ處ス

〔注〕抗敵トハ敵對スルヲ〇同盟國トハ力ヲ合セ互ニ味方シテ敵國ニ

向フノ盟ヲ立テタル國ヲ云フ〇其他云々トハ敵國ノ味方ヲ爲スヲ

云フ

第二百二十條 交戰中敵兵ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシメ若クハ本國及ヒ同盟國ノ都府城塞又ハ兵器彈藥船艦其他軍事ニ關スル土地家屋物件ヲ敵國ニ交付シタル者ハ死刑ニ處ス

〔注〕誘導トハ案内シテツレコムヲ○本國管内トハ大日本國ノ領地内ヲ云フ○交附トハ引渡スヲ

第二百二十一條 本國及ヒ同盟國ノ軍情機密ヲ敵國ニ漏泄シ若クハ兵隊屯集ノ要地又ハ道路ノ險夷ヲ敵國ニ通知シタル者ハ無期流刑ニ處ス

〔注〕軍情トハ軍中ノ事情ヲ云フ○機密トハ至極大切ナル事柄ヲ云フ○漏洩トハ通シ知ラスルヲ○要地トハ肝要ナル土地ヲ云フ○險夷トハ道ノケワヅキトダヒラナルヲ

敵國ノ間諜ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシメ若クハ之ヲ藏匿シタル者

亦同シ

〔注〕間諜トハ忍ヒノ者ヲ云フ○藏匿トハカクマヒオクヲ

第二百二十二條 陸海軍ヨリ委任ヲ受ケ物品ヲ供給シ及ヒ工作ヲ爲ス者交戰ノ際敵國ニ通謀シ又ハ其賂遺ヲ收受シテ命令ニ違背シ軍備ノ缺乏ヲ致シタル時ハ有期流刑ニ處ス

〔注〕委任トハマカセタノムヲ○工作トハ普請^{フシ}作事等ヲ云フ○交戰ノ際トハ軍中戰ヒスルトキヲ云フ○賂遺トハ贈リ物ヲ云フ○通謀トハ内通スルヲ○收受トハ受ケ取ルヲ○缺乏トハカケテトボシキヲ

○即チ故サラニ軍備ニ不足ヲ生セシメタル者ヲ云フ

第二百二十三條 外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開キタル者ハ有期流刑ニ處ス其豫備ニ止ル者ハ一等又ハ二等ヲ減ス

〔注〕戰端トハ戰爭ノ發起ヲ云フ○其豫備ニ止ルトハ前以テ備ヲ爲タ

ル丈ケノコ○如何ナル事情アルニモセヨ人民私ニ兵ヲ擧ケ外國ト
戰爭ヲ爲シ始メタルカ又ハ其備ヲ爲セハ即チ此條ノ刑ヲ以テ罰ス
第二百三十四條 外國交戦ノ際本國ニ於テ局外中立ヲ布告シタル
時其布告ニ違背シタル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以
上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕局外中立トハ外國ト外國ト戰爭ヲ爲スル我國ハ其双方ノ國ノコ
ニ關係セザルヲ云フ

第二百三十五條

此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者
ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第二章

靜謐ヲ害スル罪

〔注〕國內ノ安穩ヲ妨害スルヲ云フ

第一節

兇徒聚衆ノ罪

〔注〕兇徒トハ惡シキ徒黨ヲ云フ○聚衆トハ大勢ヲ集ムルコ

黨民一揆等皆チ此罪ニ當ル

第二百三十六條

兇徒多衆ヲ嘯聚シテ暴動ヲ謀リ官吏ノ説諭ヲ受
クルト雖モ仍ホ解散セサル者首魁及ヒ教唆者ハ三月以上三年以下ノ
重禁錮ニ處ス附和隨行シタル者ハ二圓以上五圓以下ノ罰金ニ處ス

〔注〕嘯聚トハ召ヒ集ムルコ○暴動トハ手荒キ振ル舞ヒヲ云フ○説諭

トハ解散ヲ命スルコトヲ云フ○仍ホ解散セサルトハ矢張り説諭ニ從

ハスシテ集リ合フコト

第二百三十七條

兇徒多衆ヲ嘯聚シテ官廳ニ喧鬧シ官吏ニ強逼シ
又ハ村市ヲ騷擾シ其他暴動ヲ爲シタル者首魁及ヒ教唆者ハ重懲役ニ處
ス其嘯聚ニ應シ煽動シテ勢ヲ助ケタル者ハ輕懲役ニ處シ其情輕キ者
ハ一等ヲ減ス附和隨行シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

〔注〕官廳トハ役所ヲ云フ〇喧鬧トハヤカマシク噪クヲ〇強逼トハ無理ニ押カケ追ルヲ〇村市トハ村落及市中ノヲ〇騷擾トハサワガスルヲ〇煽動トハオダテタツルヲ〇勢ヲ助ケタルトハ騷擾亂暴スル者ニカテツクルヲ

第二百二十八條 暴動ノ際人ヲ殺死シ若クハ家屋船舶倉庫等ヲ燒燬シタル時ハ現ニ手ヲ下シ及ヒ火ヲ放ツ者ヲ死刑ニ處ス
首魁及ヒ教唆者情ヲ知テ制セサル者亦同シ

〔注〕手ヲ下ストハ人ヲ殺死スルヲニ付テ云ヒ火ヲ放ツトハ家屋等ヲ燒クニ付テ云フナリ暴動ノ首魁又ハ教唆者ハ暴徒カ此等ノ罪ヲ犯スヲ知テ止トメサルキハ同罪トス

第二節 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪

〔注〕諸官員ノ職務ヲ執リ行フニ對スル罪ヲ云フ

第二百二十九條 官吏其職務ヲ以テ法律規則ヲ執行シ又ハ行政司法官署ノ命令ヲ執行スルニ當リ暴行脅迫ヲ以テ其官吏ニ抗拒シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕行政司法官署トハ行政官署又ハ司法官署ト云フ意ナリ行政官署トハ政治ヲ執リ行フ役所ナリ司法官署トハ法律ヲ適テ用ユル役所ナリ〇抗拒トハ逆ラヒ拒ムヲ

暴行脅迫ヲ以テ其官吏ノ爲ス可カラサル事件ヲ行ハシメタル者亦同シ

〔注〕官吏カナシテナラヌ事柄ヲ其官吏ニ無理ニナサシムルヲ云フ

第二百四十條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ官吏ヲ毆傷シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

[注] 毆傷トハ打チタ、キ傷ツケルヲ○毆打創傷ノ各本條トハ第三編第一章第二章ニアリ

第四百十二條

官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於テ形容若クハ言語ヲ以テ侮辱シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

[注] 形容トハ顔ホ貌チ云フ○侮辱トハ下^カシムルヲ

其目前ニ非スト雖モ刊行ノ文書圖書又ハ公然ノ演說ヲ以テ侮辱シタル者亦同シ

[注] 刊行ノ文書圖書トハ出版シタル文書圖書ヲ云

第三節 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪

[注] 囚ハ囚人ガ逃ケ走リタルニ付テノ罪ト罪人ヲ隠ガニ匿シタルノ罪ト云

第四百十二條

已決ノ囚徒逃走シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ獄舎獄具ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫ヲ爲シテ逃走シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

[注] 已決トハ囚人ノ罪確定シタルヲ○獄舎トハ牢屋ノヲ○獄具トハ牢屋ノ道具チ云フ

第四百十三條

已決ノ囚徒逃走ノ罪ヲ犯スト雖モ再犯ヲ以テ論セズ其刑期限内再ヒ逃走シタル者ハ再犯ヲ以テ論ス

[注] 罪定リテ獄舎ニアリ一度逃走シタル者ハ逃走ノ罪ヲ更ラニ科シ二度逃走シタル者ハ二度メノ逃走ノ罪ハ再犯加重ノ例ニ依リ刑ヲ重クスルナリ

第四百十四條

未決ノ囚徒入監中逃走シタル者ハ第四百十二條

ノ例ニ同シ但原犯ノ罪ヲ判決スル時ニ於テ數罪俱發ノ例ニ照シテ處斷ス

〔注〕未決ノ囚徒トハ未タ罪科ノ定マラサル囚人ヲ云フ○入監トハ監獄ノ内ニ居ルヲ○原犯トハ最初ニ犯シタルヲ云フ○未タ罪アルヤ否ヤモ確定セサル者ナレハ獄舎ニ居ルモ無罪人同様ナルニ依テ若シ逃走シタル者カ前ニ訴ヘラレタル罪ヲ犯シタリトノ裁判ヲ受ケタルトハ其本罪ト逃走ノ罪科トチ比照シ數罪俱發ノ例ニ依テ一ノ重キ刑ヲ科スルナリ

第四百四十五條 囚徒三人以上通謀シテ逃走シタル時ハ第四百四十二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

〔注〕通謀トハ謀シ合スルヲ

第四百四十六條 囚徒ヲ逃走セシムル爲メ兇器其他ノ器具ヲ給與

シ又ハ逃走ノ方法ヲ指示シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

囚テ囚徒ノ逃走ヲ致シタル時ハ一等ヲ加フ

〔注〕兇器トハ逃走スルニ付テ用ル器具刃物等ヲ云フ○初項ハ逃走セシメントシタル者ノ刑次項ハ既ニ逃走セシメタル者ヲ云フ

第四百四十七條 囚徒ヲ劫奪シ又ハ暴行脅迫ヲ以テ囚徒ノ逃走ヲ助ケタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕此項ハ未決囚徒及ヒ輕罪ノ刑ニ處セラレタル者ニ付テ云フ若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ輕懲役ニ處ス

第四百四十八條 囚徒ヲ看守シ又ハ護送スル者囚徒ヲ逃走セシメタル時ハ又前條ノ例ニ同シ

〔注〕看守トハ番ヲシテ見締テ居ルコト○護送トハ守護シテ送り行シコト
○此等ノ職掌アル者カ唯々逃走セシメタル罪ハ平常ノ者カ劫奪又
ハ暴行ヲ加ヘテ囚人ヲ逃走セシメタルト其刑ヲ同フスルナリ
第四百十九條 前數條ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未ダ遂
ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

〔注〕未遂犯罪ノ例ハ第一百一條以下ニアリ

第四百五十條 看守又ハ護送者其懈怠ニ因リ囚徒ノ逃走ヲ覺ラサル
時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ三圓以上三十圓以下ノ
罰金ニ處ス

第四百五十一條 犯罪人又ハ逃走ノ囚徒及ヒ監視ニ付セラレタル
者ナルコトヲ知テ之ヲ藏匿シ苦クハ隱避セシメタル者ハ十一日以上一

年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚徒ニ係ル時ハ一等ヲ加フ

第四百五十二條 他人ノ罪ヲ免カレシメントコトヲ圖リ其罪證ト爲ル
可キ物件ヲ隱蔽シタル者ハ十一日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓
以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕圖ルトハ工面スルコト○其罪證トハ罪ノ証據ヲ云フ○隱蔽トハ包
ミカクコト

第四百五十三條 前二條ノ罪ヲ犯シタル者犯人ノ親屬ニ係ル時ハ
其罪ヲ論セズ

第四節 附加刑ノ執行ヲ遁ル、罪

〔注〕下モ二條ノ附加刑ヲ當テラレタルトキニ其附加ノ刑ヲ守
ラス公權ヲ行ヒ監視ノ規則ニ背ク之ヲ執行ヲ遁ル、ト云フ

第三十一條以下附加刑處分ヲ見合スヘシ

第五百五十四條 公權ヲ剝奪セラレ又ハ公權ヲ停止セラレタル者私ニ其權ヲ行ヒタル時ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕剝奪公權停止公權ヲ附加セラレタル者私ニ其公權ヲ行ヒ附加刑ヲ守ラサル罪ヲ云フ

第五百五十五條 監視ニ付セラレタル者其規則ニ違背シタル時ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

第五百五十六條 前二條ノ罪ハ其刑期限内再ヒ犯シタル時ニ非サレハ再犯ヲ以テ論スルコトヲ得ス

〔注〕附加刑ノ執行ヲ通レテ罪ヲ科セラル、コト刑期中二度ニ及ヘハ其二度メハ再犯加重例ニ依テ重ク科セラル

第五節 私ニ軍用ノ銃砲彈藥ヲ製造シ及ヒ所有スル罪

〔注〕官令ナク又官許ナク軍事入用ノ小銃大砲彈藥ヲ製作スルノ罪ト其レヲ所有スルトノ二件ノ罪

第五百五十七條 官命ヲ受ケス又ハ官許ヲ得スシテ陸海軍ノ用ニ供スル銃砲彈藥其他破裂質ノ物品ヲ製造シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス其之ヲ輸入シタル者亦同シ

〔注〕破裂質トハ爆^{ハク}リ破ル可キ勢分ヲ持チタル性質ノ物ヲ云フ○此等ノ物品ヲ私ニ製造シタルノミチ以テ罰セラル但此等ノ物品ヲ他國ヨリ買入レタルハ自ラ製造シタルト其罪ヲ同フス

前項ノ物品ヲ私ニ販賣シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第五百五十八條 前條ノ罪ヲ犯スト雖モ職工又ハ雇人ニシテ止タ

正犯ノ使令ニ供シタル者ハ各本刑ニ照シ二等ヲ減ス

〔注〕正犯トハ前條ノ禁制物ヲ製造スルカ或ハ販賣スル人ヲ云フ○使令ニ供スルトハ此罪ヲ犯ス主人ノ使役ヲ受ケ指圖ニ從ヒ用事ヲ辨シタルヲ○此レ從犯トシテ刑ヲ減輕スルナリ

第五百五十九條 前二條ノ罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサル者ハ未

遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

〔注〕未遂犯罪例ハ第一百一條以下ニ在リ

第六十條 第五百五十七條ニ記載シタル物品ヲ私ニ所有シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十一條 第五百五十七條ニ記載シタル物品ノ製造ニ供シタル器械ニシテ單ニ其用ニ供ス可キ者ハ何人ノ所有ヲ問ハズ之ヲ沒收ス

〔注〕單ニ其用ニ供ストハ只其物品ヲ製造スルヲニ用立テ其他ノ事ニ用立タサルヲ○沒收トハ官ニ取リ上ルヲ○百五十七條ノ禁制物ヲ官ニ取上ルノミナラス製造道具モ之ヲ取上ルヲアルヲ云フ

第六節 往來通信ヲ妨害スル罪

〔注〕海陸往來ノ妨害ヲナシ又ハ音信ノ妨害ヲナスニ付テノ罪

第六十二條 道路橋梁河溝港埠ヲ損壞シテ往來ヲ妨害シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ

附加ス

第六十三條 偽計又ハ威力ヲ以テ郵便ヲ妨害シ若クハ之ヲ阻止シタル者ハ亦前條ニ同シ

〔注〕偽計トハ偽リノ計ヲ云フ○威力トハ威勢又ハ腕力ヲ云フ○阻止トハヘタテ止ムルヲ

第六十四條 電信ノ器械柱木ヲ損壞シ又ハ條線ヲ切斷シテ電氣ヲ不通ニ致シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
若シ器械柱木條線ヲ損壞シテ電信ノ妨害ヲ爲スト雖モ不通ニ至ラサル時ハ一等ヲ減ス

〔注〕條線トハ電信ノ針金ヲ云フ

第六十五條 漁車ノ往來ヲ妨害スル爲メ鐵道及ヒ其標識ヲ損壞シ其他危險ナル障礙ヲ爲シタル者ハ重懲役ニ處ス

〔注〕標識トハ目印トシテ立タル物ヲ云フ○障礙トハ邪魔サワリニナルコ

第六十六條 船舶ノ往來ヲ妨害スル爲メ燈臺浮標其他航海ノ安寧ヲ保護スル標識ヲ損壞シ又ハ詐僞ノ標識ヲ點示シタル者ハ亦前

條ニ同シ

〔注〕浮標トハ浮ケ印シテ云フ○航海トハ海ヲ渡ルコト○安寧トハ海上ノ安全ノコト

第六十七條 前數條ニ記載シタル罪其事務ニ關スル官吏及ヒ雇人職工自ラ犯シタル時ハ各本刑ニ照シ一等ヲ加フ

第六十八條 第六十二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ殺傷シタル者ハ毆打創傷ノ各本刑ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第六十九條 第六十五條第六十六條ノ罪ヲ犯シ因テ漁車ヲ顛覆シ又ハ船舶ヲ覆没シタル時ハ無期徒刑ニ處シ人ヲ死ニ致シタル時ハ死刑ニ處ス

〔注〕顛覆トハ引キクシテ反スト○覆没トハ沉メナクスルコト

第七十條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル

者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第七節 人ノ住所ヲ侵ス罪

〔注〕此節ニ於テハ他人ノ住居場所ニ侵シ入ル罪

第七十一條 晝間故ナク人ノ住居シタル邸宅又ハ人ノ看守シタル建造物ニ入リタル者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

〔注〕建造物トハ家屋類ノ如キ建築シテ造リタルモノ

若シ左ニ記載シタル所爲アル時ハ一等ヲ加フ

一 門戸牆壁ヲ踰越損壞シ又ハ鎖鑰ヲ開キテ入リタル時

〔注〕鎖鑰トハカケ金又ハ錠ノ如キ類ヲ云フ

二 兇器其他犯罪ノ用ニ供ス可キ物品ヲ携帯シテ入リタル時

三 暴行ヲ爲シテ入リタル時

四 二人以上ニテ入リタル時

第七十二條 夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅又ハ人ノ看守シタル建造物ニ入リタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ前條ニ記載シタル加重ス可キ所爲アル時ハ一等ヲ加フ

〔注〕第七十一條ノ四個ノ所爲アリテ夜中ニ侵シ入リタルハ更ニ本

刑ニ一等ヲ加フルナリ

第七十三條 故ナク皇居禁苑離宮行在所及ヒ皇陵内ニ入リタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

〔注〕禁苑トハ天子ノ御庭ノヲ〇離宮トハ天子ノ御別荘ノヲ〇行在所トハ天子ノ御出先キニ設ケタル假リノ御殿ヲ云フ〇皇陵トハ王室御代々ノ御墓所ヲ云フ

第八節 官ノ封印ヲ破棄スル罪

〔注〕官署ノ封印ヲ破リ棄ツル者ニ付テノ罪條

第七十四條 官署ノ處分ニ因リ特別ニ家屋倉庫其他ノ物件ニ施シタル封印ヲ破棄シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

〔注〕役所ノ處分ニ因テ別段ニ家倉其外諸種ノ物件ニ施シ用ヒタル封印ヲ破リ棄テタル者ヲ云フ

若シ看守者自ラ犯シタル時ハ一等ヲ加フ

〔注〕看守者トハ番人ノコト

第七十五條 官ノ封印ヲ破棄シテ其物件ヲ盜取シ又ハ毀壞シタル者ハ盜罪及ヒ毀壞ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

〔注〕官ヨリ爲サレタル封印ヲ破リ棄テ、其物件ヲ盜ミ取り又ハ毀壞シタル者アルハ其盜取シタル者ハ盜罪毀壞シタル者ハ毀壞罪此封印破棄罪ト其罪孰レカ重キ方ノ罪條ニ照ラシ處分ス

第七十六條 看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ其物件ヲ

盜取毀壞スル犯人アルコトヲ覺ラサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

〔注〕此條ハ封印ノ番人怠リテ其封印ヲ破リ棄テ又ハ其封印附ノ物件ヲ盜ミ取り毀テ壞ブル罪人アルコトヲ覺ラサル時ノ罰ヲ定ムルナリ

第九節 公務ヲ行フヲ拒ム罪

〔注〕公ケノ職務ヲ行フヲ拒ム罪

第七十七條 陸海軍ノ將校タル者出兵ヲ要求スル權アル官署ヨリ其要求ヲ受ケ故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕將校トハ士官ノコト○出兵ヲ要求スルトハ兵ヲ出セヨト求ムルヲ云フ故ナクシテ之ヲ肯セストハ兵ヲ出セヨト求メテ其求テ事故ナク承知セザルコト

第七十八條

陸海軍ノ徴兵ニ編入セラレ可キ者身體ヲ毀傷シテ疾病ヲ作為シ其他詐偽ノ所爲ヲ以テ免役ヲ圖リタル時ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕編入トハ組ミ込ムコト○疾病ヲ作為シトハ作り病氣スルコト○免役ヲ圖ルトハ兵役ヲ遁レルコトヲ工面スルコト

若シ他人ニ囑託シ其氏名ヲ詐稱シ代テ徴募ニ應セシメタル者亦同シ其囑託ヲ受ケテ徴募ニ應シタル者ハ第二百三十一條ノ例ニ照シテ處斷ス

〔注〕囑託トハ依リ頼ムコト○徴募トハ徴兵ヲ召ヒ出スコト○若シ人他人ニ依頼シテ名前ヲ詐リ己レノ名ヲ名乗ラセテ己レノ代リニ徴兵ニ當ラシメタル人モ右ニ記載シタル所ト同様ノ罪ニ處スルナリ又タ人ノ依頼ヲ受合ヒ人ノ名前ヲ名乗リテ徴兵ニ出テタル人ハ第二百

三十一條ニ記載シタル通リ官署ニ對シ文書又ハ言語ヲ以テ其屬籍身分姓名年齢職業ヲ詐リ稱シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處スト云フ法ヲ見合セテ其罪ヲ處分スルナリ

第七十九條

醫師化學家其他職業ニ因リ官署ヨリ解剖分析又ハ鑑定ヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

〔注〕化學家トハ含蜜^{セイミ}チナス人○解剖トハ人ノ屍又ハ動物ノ死體ヲ解剖スルコト○分析トハ物ノ性質ヲ分別スルコト○鑑定トハ目利^{メキ}シテ見定ムルコト

第八十條

裁判所ヨリ證人トシテ證據ヲ陳述スルコトヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ亦前條ニ同シ
〔注〕陳述トハ申立ルコト

第百八十一條 傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

〔注〕傳染トハ他人ニ移ル病ヲ云フ○流行トハハヤルヲ○病患トハ病者ノ一〇検査トハ取り調フルト○消滅ノ方法トハ其病毒ヲナクスル仕方ヲ云フ

獸類傳染病流行ノ際獸醫此條ノ罪ヲ犯シタル時ハ一等ヲ減ス
〔注〕獸醫トハ獸類ノ病ヲ療治スル醫師ヲ云フ

第四章 信用ヲ害スル罪

〔注〕貨幣印形文書證書鑑札度量衡投票ハ世間一般其正當ナルヲ信シテ通用ス又又身分ノ如キモ人ノ信シテ交際スルモノナリ

若シ此等ニ偽リアルルモ世間其一般ヲ疑ヒ社會公益ノ害ヲナスコト甚シ故ニ信用ヲ害スル罪ト云フ

第一節 貨幣ヲ偽造スル罪

〔注〕金銀紙幣ヲ贋セ作ルコトノ罪狀

第百八十二條 内國通用ノ金銀貨及ヒ紙幣ヲ偽造シテ行使シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

〔注〕行使トハ使ヒ用ユルヲ○贋貨幣ヲ造リ其レヲ通用サセタル者ノ刑ナリ

若シ變造シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

〔注〕變造トハ作り直スコト十錢札ヲ二十錢札ニ變スル類ヲ云フ

一〇一 第百八十三條 内國ニ於テ通用スル外國ノ金銀貨ヲ偽造シテ行使シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

二〇一

若シ變造シテ行使シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第百八十四條 官許ヲ得テ發行スル銀行ノ紙幣ヲ偽造シ若クハ

變造シテ行使シタル者ハ内外國ノ區別ニ從ヒ前二條ノ例ニ照シテ處

斷ス

〔注〕發行トハ世間ニ出ス

第百八十五條 内國通用ノ銅貨ヲ偽造シテ行使シル者ハ輕懲役

ニ處ス

若シ變造シテ行使シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第百八十六條 前數條ニ記載シタル貨幣ノ偽造變造已ニ成テ未

タ行使セサル者ハ各本刑ニ照シ一等ヲ減シ其未タ成テサル者ハ二等

ヲ減ス

若シ偽造ノ器械ヲ豫備シテ未タ著手セサル者ハ各三等ヲ減ス

〔注〕著手トハ偽造ニ取り懸ル

第百八十七條 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知テ雇テ受ケタル職

工ノ前數條ニ記載シタル犯人ノ受ク可キ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

若シ職工ノ補助ヲ爲シテ雜役ニ供シタル者ハ職工ノ刑ニ照シ一等又

ハ二等ヲ減ス

〔注〕補助トハ手助ヲスルヲ〇雜役トハ種々ノヲニ使役セラレ、

偽造變造ノ職人ヲ雇ヒ其職人ノ手助ケヲ爲サシムル爲メニ主犯者

ヲ雇入レタル雇人ノヲ云フ

第百八十八條 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知テ房屋ヲ給與シタ

ル者ハ偽造變造ノ各本刑ニ照シ二等ヲ減ス

〔注〕房屋ヲ給與ストハ家ヲ貸シ與フル

三〇一

第百八十九條 偽造變造ノ貨幣ヲ内國ニ輸入シタル者ハ偽造變

造ノ刑ニ同シ

〔注〕輸入トハ外國ヨリ國內ヘ送り込ムコト

第百九十條 偽造變造ノ情ヲ知テ其貨幣ヲ取受シ之ヲ行使シタル者ハ偽造變造シテ行使シタル者ノ刑ニ照シ各二等ヲ減ス
其未タ行使セサル者ハ各三等ヲ減ス

第百九十一條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第百九十二條 貨幣ヲ偽造變造シ及ヒ輸入取受シタル者未タ行使セサル前ニ於テ官ニ自首シタル時ハ本刑ヲ免シ六月以上三年以下ノ監視ニ付ス
若シ職工雜役及ヒ房屋ヲ給與シタル者未タ行使セサル前ニ於テ自首シタル時ハ本刑ヲ免ス

〔注〕自首トハ自分ニ其罪ヲ申立ルコト

第百九十三條 貨幣ヲ取受スルノ後ニ於テ偽造又ハ變造ナルコトヲ知リ之ヲ行使シタル者ハ其價額ニ倍ノ罰金ニ處ス但し其罰金ハ二圓以下ニ降スコトヲ得ス

〔注〕價額ニ倍ノ罰金トハ使ヒ用ヒタル金高十圓ナレハ二十圓ノ罰金ヲ抵ツルコト其罰金ハ二圓以下ニ降スコトヲ得ストハ行使ノ二倍二圓以内ナル中モ其罰金ハ二圓ヲ科スルコトヲ云フ○贖セ貨幣ナルコトニ必附テガラ之ヲ使用シタル者ノ刑ナリ

第二節 官印ヲ偽造スル罪
〔注〕官署ノ印形ヲ贋セ作ル罪條

五〇一 第百九十四條 御璽國璽ヲ偽造シ又ハ其偽璽ヲ使用シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

〔注〕御璽トハ天子ノ御印形ヲ云フ○國璽トハ日本國ノ印ヲ云フ

第百九十五條 各官署ノ印ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ重懲役ニ處ス

第百九十六條 產物商品等ニ押用スル官ノ記號印章ヲ偽造又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ輕懲役ニ處ス

〔注〕記號トハ目シルシ等ノ○印章トハ模様形ノ○書籍什物等ニ押用スル官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

〔注〕什物トハ器具諸品等ヲ云フ
第百九十七條 御璽國璽官印記號印章ノ影蹟ヲ盜用シタル者ハ前數條ニ記載シタル偽造ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス
若シ監守者自ラ犯シタル時ハ偽造ノ刑ニ同シ

〔注〕影蹟トハ印ヲ押シテウツクタル跡カタテ云フ○監守者トハ預リ人又ハ目ヲ付テ番ナスル人ヲ云フ

第百九十八條 官ヨリ發行スル各種ノ印紙界紙及ヒ郵便切手ヲ偽造變造シ又ハ其精ヲ知テ之ヲ使用シタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第百九十九條 已ニ貼用シタル各種ノ印紙及ヒ郵便切手ヲ再ヒ貼用シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

〔注〕再ヒ貼用ストハ一度張付ケ用キタルモノヲ二度張付ケ用ユルヲ
第二百條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第二百一條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三節 官ノ文書ヲ偽造スル罪

〔注〕官署ノ書キ付ケテ價セテ作ル罪條

第二百二條 詔書ヲ偽造シ又ハ増減變換シタル者ハ無期徒刑ニ

處ス

其詔書ヲ毀棄シタル者亦同シ

〔注〕詔書トハ天皇ノミコトノリテ記シタル御書ヲ云フ○増減トハ書

中ノ文ヲ増シ或ハ減ラスコト○變換トハ書中ノ文字ヲ書キ換ユルコト

○毀棄トハ毀テ又ハ棄ツルコト

第二百三條 官ノ文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者

ハ輕懲役ニ處ス

其官ノ文書ヲ毀棄シタル者亦同シ

第二百四條 公債證書地券其他官吏ノ公証シタル文書ヲ偽造シ又

ハ増減變換シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

若シ無記名ノ公債證書ニ係ル時ハ一等ヲ加フ

〔注〕公証トハ官吏ガ公務ヲ以テ保證シ認ムルヲ云フ○無記名ノ公債

證書トハ所有者ノ名前ヲ記キ付ケテナキ公債證書ヲ云フ

第二百五條 官吏其管掌ニ係ル文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行

使シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

其文書ヲ毀棄シタル者亦同シ

〔注〕管掌ニ係ルトハ受持テ居ルヲ云フ

第二百六條 官ノ文書ヲ偽造スルニ因テ官印ヲ偽造シ又ハ盜用シ

タル者ハ偽造官印ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第二百七條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ減輕ニ因テ輕罪ノ刑ニ處

スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第四節 私印私書ヲ偽造スル罪

〔注〕私ノ印形或ハ私ノ書類ヲ贋造シ又ハ之ヲ使用スルノ罪

第二百八條 他人ノ私印ヲ偽造シテ使用シタル者ハ六月以上五年

以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕他人カ証據ニ用ユル印形ヲ贋作シテ其レヲ用ヒタルヲ云フ

若シ他人ノ印影ヲ盗用シタル者ハ一等ヲ減ス

〔注〕自ラ偽造シタル印ヲ用ルニ非スシテ他人ノ實ノ印ヲ盜ミ隠カニ

之ヲ用ヒタルヲ云フ

第二百九條 爲替手形其他裏書ヲ以テ賣買ス可キ証書若シハ金額

ト交換ス可キ約定手形ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ輕

懲役ニ處ス

〔注〕裏書ヲ以テ賣買スルハ証書ノ裏面ニ姓名等ヲ記シテ賣買スルコト

其手形証書ニ詐偽ノ裏書ヲ爲シテ行使シタル者亦同シ

第二百十條 賣買貸借贈遺交換其他權利義務ニ關スル証書ヲ偽造

シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處

シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕贈遺トハ財産等ヲ人ニ贈リ又ハ子孫ニ與フルコト○交換トハ取り

換ルコト○權利義務ニ關スルトハ契約書ハ勿論其他凡テ其証書ニ據

テ權利ノ有無義務ノ有無ヲ証スルキモノヲ云フ

其餘ノ私書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ一月以上一年

以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百十一條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケ

サル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第二百十二條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者

ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第五節

免狀鑑札及ヒ疾病證書ヲ偽造スル罪

〔注〕官府ヨリ渡シタル免許書又ハ官府ノ印形ヲ居ヘタル札及

ヒ疾病ニ証書ヲ贋シ作ル罪條

第二百十三條 官ノ免狀又ハ鑑札ヲ偽造シテ行使シタル者ハ一

月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四圓以下ノ罰金ヲ附加ス

但官印ヲ偽造シ又ハ盜用シタル時ハ偽造官印ノ各本條ニ照シテ處斷

ス

第二百十四條 屬籍身分氏名ヲ詐稱シ其他詐偽ノ所爲ヲ以テ免

狀鑑札ヲ受ケタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上

二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

官吏情ヲ知テ其免狀鑑札ヲ下付シタル者ハ一等ヲ加フ

〔注〕免狀鑑札ヲ渡ス役人ガ之ヲ受ル者ノ屬籍身分姓名ハ實ニ非ズ詐

リナルコトヲ知リナカラ其免狀鑑札ヲ下ケ渡シタルハ一等ヲ加ヘ

テ處斷スルヲ云フ

第二百十五條

公務ヲ免カレ可キ爲メ醫師ノ氏名ヲ用ヒ疾病ノ

證書ヲ偽造シテ行使シタル者ハ自己ノ爲メニシ他人ノ爲メニスルヲ

分タズ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金

ヲ附加ス

〔注〕官職又ハ公務ヲ免ル、手段ニ醫師ノ認ムヘキ疾病證書ヲ偽作シ

之ヲ用立テタルヲ云フ

醫師囑託ヲ受ケテ其詐偽ノ證書ヲ造リタル者ハ一等ヲ加フ

第二百十六條

陸海軍ノ徴兵ヲ免カレ可キ爲メ疾病ノ證書ヲ偽

造シテ行使シタル者及ヒ囑託ヲ受ケテ其詐偽ノ證書ヲ造リタル醫師
ハ前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

第二百十七條

免狀鑑札及ヒ疾病ノ證書ヲ増減變換シテ行使シ
タル者ハ亦偽造ノ刑ニ同シ

[注]増減變換トハ真正ノ証書中ノ文ヲ増減シ或ハ其証書ノ字句文言
ヲ取り換ヘ書キ直ス

第六節 偽證ノ罪

[注]偽リテ證據ヲ立ツル罪條

第二百十八條

刑事ニ關スル證人トシテ裁判所ニ呼出サレタル
者被告人ヲ曲庇スル爲メ事實ヲ掩蔽シテ偽證ヲ爲シタル時ハ左ノ例
ニ照シテ處斷ス

一 重罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ

處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

二 輕罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ
處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

三 違警罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ違警罪ノ本條ニ依テ處斷ス
第二百十九條 偽證ノ爲メ被告人正當ノ刑ヲ免カレタル時ハ偽
證者ノ刑前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

[注]正當ノ刑トハ犯罪ニ科ス可キ丁度相當シタル刑ヲ云フ

第二百二十條

被告人ヲ陷害スル爲メ偽證ヲ爲シタル者ハ左ノ
例ニ照シテ處斷ス

[注]陷害トハ罪ニ落ス

一 重罪ニ陷ラシムル爲メ偽證シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮
ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

二輕罪ニ陥ラシムル爲メ偽證シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
三違警罪ニ陥ラシムル爲メ偽證シタル者ハ一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百二十一條

偽證ノ爲メ被告人刑ニ處セラレタル後ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ偽證者ヲ其刑ニ反坐ス若シ反坐ノ刑前條ニ記載シタル偽證ノ刑ヨリ輕キ時ハ前條ノ例ニ照シテ處斷ス

〔注〕人が詐ハリノ證據ノ爲メニ被告人刑罰ニ處斷セラレタル後ニ於テ其詐ハリノ證據ヲ申立テタルコトガ顯ハレタルトキハ詐ハリノ證據ヲ爲シタル人ヲ其被告人ガ當テラレタル刑ニ處スル之ヲ反坐ノ刑ト云フ若シ其ノ反坐ノ刑前條ニ記載シタル刑ヨリモ輕キトキハ前條ニ記載シタル條例ヲ見合セ其刑ニ處ス

其刑期限内ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ現ニ經過シタル日數ニ照シテ反坐ノ刑期ヲ減スルコトヲ得但減シテ前條偽證ノ刑ヨリ降ストキ得ス

〔注〕其刑期云々トハ冤者ノ受刑ノ期限内ナルニ偽證ノコト顯ルレハ冤者ハ赦免コナリ偽證者ヲ其刑ニ反坐ス但シ冤者ガ是迄現ニ受ケ來ル刑期限間丈ケニ反坐ノ刑ヲ縮ムルハ裁判官ノ權ニ任スト雖モ其減縮シタル反坐刑期偽證ノ刑ヨリ輕クスルヲ得サルヲ云フ

第二百二十二條

偽證ノ爲メ被告人死刑ニ處セラレタル時ハ反坐ノ刑一等ヲ減ス其未タ刑ヲ執行セサル前ニ於テ發覺シタル時ハ二等ヲ減ス

若シ被告人ヲ死ニ陥ル、ノ目的ヲ以テ偽證ヲ爲シタル時ハ死刑ニ反坐ス其未タ刑ヲ執行セサル前ニ於テ發覺シタル時ハ一等ヲ減ス

第二百二十三條 民事商事又ハ行政裁判ニ關シテ偽證ヲ爲シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百二十四條 鑑定又ハ通事ノ爲メ裁判所ニ呼出サレタル者詐僞ノ陳述ヲ爲シタル時ハ前數條ニ記載シタル偽證ノ例ニ照シテ處斷ス

〔注〕鑑定トハ目利^キシテ見定ムルヲ○通事トハ言葉ノ相ヒ通セザルトキニ通辨スルヲ○陳述トハ申立ルヲ

第二百五條 賄賂其他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シテ偽證又ハ僞ノ鑑定通事ヲ爲サシメタル者ハ亦偽證ノ例ニ同シ

〔注〕賄賂トハ私カニ人ニ進物ヲ使フヲ○囑託トハ人ニタノミ込ムヲ
第二百二十六條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者其事件ノ裁

判宣告ニ至ラサル前ニ於テ自首シタル時ハ本刑ヲ免ス

第七節 度量衡ヲ偽造スル罪

〔注〕度トハ物指シ尺○量トハ柝目○衡トハ秤^{ハカリ}ノヲ

第二百二十七條 度量衡ヲ偽造シ又ハ變造シテ販賣シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ盜用シタル時ハ偽造官印ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第二百二十八條 偽造變造ノ情ヲ知テ其度量衡ヲ販賣シタル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ減ス

第二百二十九條 商賈農工定規ヲ増減シタル度量衡ヲ所有シタル者ハ一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ其度量衡ヲ使用シテ利ヲ得タル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス
第二百三十條 人ノ囑託ヲ受ケテ度量衡ヲ偽造シ又ハ變造シタ
ル者ハ其囑託シタル犯人ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

第八節 身分ヲ詐稱スル罪

[注]己レノ身分ヲ詐リテ唱ヘルコトニ付テノ罪條

第二百三十一條 官署ニ對シ文書又ハ言語ヲ以テ其屬籍身分氏
名年齢職業ヲ詐稱シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

[注]身分トハ華士族平民等ノ類ヲ云フ

第二百三十二條 官職位階ヲ詐稱シ又ハ官ノ服飾徽章若クハ内
外國ノ勳章ヲ借用シタル者ハ十五日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ二
圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

[注]官ノ服飾トハ衣服ノ飾ヲ云フ○徽章トハ帽子等ニ着クルシルシ

ヲ云フ○勳章トハ勳功ヲ表スルシルシ○借用トハ帶アルコトヲ得ザ
ル貴キ服飾徽章勳章ヲ安リニ用ユルヲ云フ

第九節 公選ノ投票ヲ偽造スル罪

[注]公ケニ選擇スル時ノ入札ヲ偽リ造ルコトニ付テノ罪條

第二百三十三條 公選ノ投票ヲ偽造シ又ハ其數ヲ増減シタル者
ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附
加ス

第二百三十四條 賄賂ヲ以テ投票ヲ爲サシメ又ハ賄賂ヲ受ケテ
投票ヲ爲シタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ三圓以上三十
圓以下ノ罰金ヲ附加ス

一三一 [注]此條ハ賂ヒトシテ進物ヲ使ヒテ己レノ爲メニ入札ヲ爲サシメタ
ル人又ハ人ノ進物ヲ受ケテ其人ノ爲メニ入レ札ヲ爲セシ者ノ刑ヲ

定ムルナリ

第二百三十五條 投票ヲ検査シ及ヒ其數ヲ計算スル者其投票ヲ偽造シ又ハ増減シタル時ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十六條 調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル者其數ヲ増減シ其他詐偽ノ所爲アル時ハ一年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

[注]調書ヲ造ルトハ入レ札ヲ爲シタル後ニ其ノ始末ノ調べ書キヲ爲シテ衆人ニ知ラスルヲ

第五章 健康ヲ害スル罪

[注]身体ノ健康ヲ妨ケスルヲニ付テノ罪條

第一節 阿片烟ニ關スル罪

[注]阿片^{オピウム}烟草ノヲニ關係スル罪ヲ云フ

第二百三十七條 阿片烟ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

[注]阿片煙草ハ人身ニ有害ノモノナレハ之ヲ外國ヨリ買ヒ入レ及ヒ我國中ニ於テ製造シ又ハ之ヲ賣リ捌キシタル人ハ有期ノ徒刑ニ處スルナリ

第二百三十八條 阿片烟ヲ吸食スルノ器具ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ輕懲役ニ處ス

[注]吸食スル器具トハ阿片烟草ヲ吸フ爲メノ烟管等ノ道具ヲ云フ
第二百三十九條 税關官吏情ヲ知テ阿片烟及ヒ其器具ヲ輸入セシメタル者ハ前二條ノ刑ニ照シ各一等ヲ加フ

[注]税關官吏トハ開港場ニ於テ船舶出入ヲ審査シ輸出入税ヲ取り禁

制物品ノ出入ヲ糾ス役人ヲ云フ

第二百四十條 阿片烟ヲ吸食スル爲メ房屋ヲ給與シテ利ヲ圖ル者ハ輕懲役ニ處ス

〔注〕阿片烟草ヲ吸フコトノ爲メニ部屋坐敷ヲ人ニ與ヘテ己ノ利益ヲ取ラントスル人ハ輕懲役ノ刑ニ處斷スルナリ
人ヲ引誘シテ阿片烟ヲ吸食セシメタル者亦同シ

第二百四十一條 阿片烟ヲ吸食シタル者ハ二年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第二百四十二條 阿片烟及ヒ吸食ノ器具ヲ所有シ又ハ受寄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

第二節 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪

〔注〕飲料ノ淨水トハ人ノ飲ミ料トスル水即チ井戸及ヒ水道等

ノ類ヲ云フ

第二百四十三條 人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フルコト能ハザルニ至ラシメタル者ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上五圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百四十四條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ用ヒテ水質ヲ變シ又ハ腐敗セシメタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕水質ヲ變ストハ藥物或ハ其外ノ物ヲ入レテ水ノ性ヲ替ラスルコト
○腐敗トハ水ヲクサラスルコト

第二百四十五條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ殴打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

〔注〕殴打創傷ノ本條ハ第二百九十九條以下ニアリ

第三節 傳染病豫防規則ニ關スル罪

〔注〕流行病ヲ豫防スル爲メニ設ケタル規則ニ觸ル、罪條

第二百四十六條 傳染病豫防ノ爲メ設ケタル規則ニ違背シテ入港ノ船舶ヨリ上陸シ又ハ物品ヲ陸地ニ運搬シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

〔注〕運搬トハ品物ヲ持チ運ブ

第二百四十七條 船長自ラ前條ノ罪ヲ犯シ又ハ人ノ犯スヲ知テ制セサル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ加フ

第二百四十八條 傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ流行地方ヨリ他所ニ出タル者ハ十五日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十九條 獸類ノ傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ獸

類ヲ他處ニ出シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四節 危害品及ヒ健康ヲ害ス可キ物品製造ノ規則ニ關スル罪

〔注〕人ノ爲メニ危クシテ害ニナル物品及ヒ人ノ身体ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ製造スル規則ニ關係シタル罪條

第二百五十條 官許ヲ得スシテ危害ヲ生ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス
若シ健康ヲ害ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

〔注〕創設トハ新タニ作り設クル

七二一
第二百五十一條 官許ヲ得テ前條ニ記載シタル製造所ヲ創設ス

ト雖モ危害ヲ豫防シ健康ヲ保護スル規則ニ違背シタル者ハ前條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

〔注〕假ハ役所ノ免許ヲ蒙リテ前條ニ書キ記シタル危ウク害トナル可キ物品ノ製造所ヲ作り立テタリトモ人ノ爲メニ危ウクシテ害トナル丁ヲ豫防スルコノ規則ト又々人ノ身体ノ爲メニ健康ヲ保テ護ル可キ規則ニ背ムキタル人ハ前條ニ記載シタル條例ヲ見合セテ一等ヲ減ス

第二百五十二條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

〔注〕過失殺傷ノ本條ハ第三百十七條以下ニアリ

第五節

健康ヲ害ス可キ飲食物及ヒ藥劑ヲ販賣スル罪

〔注〕人ノ身体ノ健康ヲソコナフベキ飲ミ物食ヒ物及ヒ藥ヲ賣

リ捌キスルコトニ付テノ罪條

第二百五十三條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ飲食物ニ混和シテ販賣シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

〔注〕混和トハ入レ雜ズルコト

第二百五十四條 規則ニ違背シテ毒藥劇藥ヲ販賣シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

〔注〕藥ヲ賣ル規則ニ背キテ人身ニ毒アル藥劑或ハ氣強キ屬シキ藥劑ヲ賣リ捌キシタル人ハ五圓以上五十圓迄ノ間ノ罰金ヲ申付クルナリ

第二百五十五條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病又ハ死ニ致シ

タル者ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

〔注〕過失殺傷ノ本條ハ第三百十七條以下ニアリ

第六節 私ニ醫業ヲ爲ス罪

〔注〕官ノ免許ヲ蒙ラズシテ私ニ醫者ノ業ヲ爲スノ罪條

第二百五十六條 官許ヲ得スシテ醫業ヲ爲シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

〔注〕醫者ハ官ノ免許ヲ取リタル上ニ爲ス可キモノナリ然ルニ官ノ免許ヲ蒙ラズシテ醫者ノ事業ヲ爲シタル人ヲ云フ

第二百五十七條 前條ノ犯人治療ノ方法ヲ誤リ因テ人ヲ死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

〔注〕前條ノ犯人トハ免許ヲ取ラズシテ醫業ヲナシタル人ヲ云フ

第六章 風俗ヲ害スル罪

〔注〕世ノ風儀習俗ヲ害スルノ罪條

第二百五十八條 公然猥褻ノ所行ヲ爲シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

〔注〕猥褻ノ所爲トハミダリガマシキ所業ヲ云フ

第二百五十九條 風俗ヲ害スル冊子圖書其他猥褻ノ物品ヲ公然陳列シ又ハ販賣シタル者ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

〔注〕世上ノ風儀習俗ヲ惡シ亂ス可キ書物類及ヒ圖繪其外ミダリガハシキ品物ヲ顯ラハニ外ニ並ヘ立テ又ハ其レ等ノ品物ヲ賣リタル人ヲ云フ

第二百六十條 賭場ヲ開張シテ利ヲ圖リ又ハ博徒ヲ招結シタル者ハ三月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕賭場トハ博奕或ハ諸種ノ賭事類ヲ爲ス可キ場所ヲ云フ〇博徒ヲ招結シトハ博奕ヲ爲ス者ヲ呼集メテ賭博同類ト相結フヲ云フ

第二百六十一條 財物ヲ賭シテ現ニ博奕ヲ爲シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其情ヲ知テ房屋ヲ給與シタル者亦同シ但飲食物ヲ賭スル者ハ此限ニ在ラス

〔注〕其情ヲ知テ房屋ヲ給與シタル者トハ其内實ノ譯柄ヲ知リナガラ部屋座敷ヲ貸シ與ヘタル人ヲ云フ○飲食ヲ賭ケニスルハ擣ハヌナ

賭博ノ器具財物其現場ニ在ル者ハ之ヲ沒收ス

〔注〕賭ケ博奕ヲ爲ス道具或ハ金錢物品等其賭チスル現在ノ場所ニ在ルトキハ之ヲ取り上クルナリ

第二百六十二條 財物ヲ醜集シ富籤ヲ以テ利益ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓

以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕醜集ストハ各々若干宛ヲ出シ合スル丁○富籤トハ各々圖ヲトリテ當リ圖ノモノガ賭ケテアル財物金錢ヲ取ルイヲ云フ○僥倖スルトハコボレ幸ヒニ當レハ好シト思ヒ万一ヲ頼ミニスルヲ云フ

第二百六十三條 神祠佛堂墓所其他禮拜所ニ對シ公然不敬ノ所爲アル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

〔注〕神祠トハ神ヲ祀リタル社祠^{ヤシロ}ヲ云フ○佛堂トハ佛ヲオキタル堂閣^{テラ}ヲ云フ○禮拜堂トハ禮拜ヲ爲ス場所ヲ云フ○此條ハ右等ノ所ニ對シテ公ケニ不敬ノ所爲ヲ爲シタル者ヲ處分スル刑ヲ定ムルナリ

若シ說教又ハ禮拜ヲ妨害シタル者ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七章 死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ發掘スル罪

〔注〕人ノ死骸ヲ切り崩シテ棄テ及ヒ人ノ墓所ヲ掘リ反スノ罪

第二百六十四條 埋葬ス可キ死屍ヲ毀棄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕埋葬ス可キトハ地中ニ埋メ葬ル可キヲ○未ダ埋葬セサル死骸ヲ毀テ棄タル罪ヲ云フ

第二百六十五條 墳墓ヲ發掘シテ棺槨又ハ死屍ヲ見ハシタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕墳墓トハ人ノ墓所○發掘トハホリ反スヲ○棺槨トハ死骸ヲ入レテ葬ムル器物ヲ云フ

因テ死屍ヲ毀棄シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十六條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケ

サル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

〔注〕未遂犯罪ノ例ハ第一百十一條以下ニアリ

第八章 商業及ヒ農工ノ業ヲ妨害スル罪

〔注〕商農工ノ業職ヲ偽計又ハ威力ヲ以テ妨クルコトノ罪條

第二百六十七條 偽計又ハ威力ヲ以テ穀類其他衆人ノ需用ニ缺ク可カラサル食用物ノ賣買ヲ妨害シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕偽リノ計策ヲ設ケ又ハ威勢ニ任セテ人間ノ食用ニ必用ナルモノヲ賣リ買ヒスルコトヲ妨ケ商業ノ害ヲナシタル罪ナリ

前項ニ記載シタル以外ノ物品ノ賣買ヲ妨害シタル者ハ一等ヲ減ス

〔注〕同シク偽計又ハ威力ヲ以テ妨害シタル者ニ付テ云フ

第二百六十八條 偽計又ハ威力ヲ以テ糶賣又ハ入札ヲ妨害シタル者ハ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕糶賣トハセリ賣リスルヲ

第二百六十九條 偽計又ハ威力ヲ以テ農工ノ業ヲ妨害シタル者ハ亦前條ニ同シ

〔注〕偽リノ計策又ハ威勢腕力ヲ以テ農民工夫ノ職業ヲ妨ケタル者ノ

刑ハ糶賣入札ヲ妨害シタル者ノ刑ト同シキチ云フ

第二百七十條 農工ノ雇人其雇賃ヲ増サシメ又ハ農工業ノ景況ヲ變セシムル爲メ雇主及ヒ他ノ雇人ニ對シ偽計威力ヲ以テ妨害ヲ爲シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕本條ハ雇人ニ付テ云フ

第二百七十一條 雇主其雇賃ヲ減シ又ハ農工業ノ景況ヲ變スル爲メ雇人及ヒ他ノ雇主ニ對シ偽計威力ヲ以テ妨害ヲ爲シタル者ハ亦前條ニ同シ

〔注〕雇ヒ主ガ其雇ヒ人ノ雇ヒ賃ヲ減ラシ又ハ農民工夫ノ職業ノ有様ヲ打チ替ラシムル爲メニ雇人及ヒ外ノ雇主ニ對シテ偽リノ計策若クハ威勢腕力ヲ以テ妨ケヲ爲シタル人モ亦前條ニ記載シタルト全シ前條ハ雇人ノ罪ニシテ本條ハ雇主ニ付テノ條ナリ

第二百七十二條 虛偽ノ風説ヲ流布シテ穀類其他衆人需用物品ノ價直チ昂低セシメタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

七三一 〔注〕虚偽ノ評判ヲ世間ニハヤラセテ穀物類又其外人間ノ是非ニ入用スル品物ノ直^{アタ}ヒチ高クシ或ハ下落セシメタル者ヲ十圓ヨリ百

圓マテノ罰金ニ處スルナリ

第九章 官吏瀆職ノ罪

〔注〕官員ガ其職分ヲ瀆ス罪條

第一節 官吏公益ヲ害スル罪

〔注〕官員ガ世上ノ公ケノ利益ヲ害スルコトノ罪條

第二百七十二條 官吏其管掌ニ係ル法律規則ヲ公布施行セズ又

ハ他ノ官吏ノ公布施行ヲ妨害シタル者ハ二月以上六月以下ノ輕禁錮

ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕管掌ニ係ルトハ己レノ職分ニテアツカリテナルコトヲ云フ○公布

施行セストハ公ケニ布令シ又ハ法律規則ヲ實際ニ執行フコトヲ

サ、ルヲ云フ

第二百七十四條 兵隊ヲ要求シ及ヒ之ヲ使用スル權アル官吏地

方ノ騷擾其他兵權ヲ以テ鎮撫ス可キ時ニ當リ其處分ヲ爲サ、ル者ハ
三月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加
ス

〔注〕兵隊ヲ要求ストハ兵隊ノ出張ヲ軍衙ニ求ムルコト○騷擾トハ躁ヲ
キ立ツルコト○鎮撫トハシツメオサムルコト

第二百七十五條 官吏規則ニ違背シテ商業ヲ爲シタル者ハ二十

圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

〔注〕此條ハ官員ガ官吏規則ニ背キテ商賣ヲ爲スコトヲ云フ

第二節 官吏人民ニ對スルノ罪

〔注〕官員ガ人民ニ對スルノ罪條

第二百七十六條 官吏擅ニ威權ヲ用ヒ人ヲシテ其權利ナキ事ヲ

行ハシメ又ハ其爲ス可キ權利ヲ妨害シタル者ハ十一日以上二月以下

ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
第二百七十七條 人ノ身體財産ヲ妨害スルノ犯人アルニ當リ豫
審判事檢事警察官吏其報告ヲ受ケテ速ニ保護ノ處分ヲ爲サ、ル者ハ
十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附
加ス

[注]此條ハ人ノ身体或ハ財産ヲ妨ケ害スル暴人アルトキハ救護セン
コトヲ豫審判事或ハ檢事或ハ警察ノ官吏ニ求ム此等ノ官吏其知ラセ
ヲ受ケタレトモグツ、トシテ早速ニ其レヲ保護スル手當ヲ爲サ
ゞル所ノ罰ヲ定ムルナリ

第二百七十八條 逮捕官吏法律ニ定メタル程式規則ヲ遵守セス
シテ人ヲ逮捕シ又ハ不正ニ人ヲ監禁シタル者ハ十五日以上三月以下
ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但監禁日數十日

ヲ過ル毎ニ一等ヲ加フ

[注]逮捕官吏トハ犯罪ヲ捕縛拘引スル役員ヲ云フ○程式トハ定マリ
タル法式ヲ云フ○監禁トハ獄屋等ニ押込ムト○但シ押込メタル
日數ガ十日ヲ過ル度ビニ其役員ノ罪ハ一等ヅ、重クナルヲ云フ

第二百七十九條 司獄官吏程式規則ヲ遵守セスシテ囚人ヲ監禁
シ若クハ囚人ヲ出獄セシム可キノ時ニ至リ之ヲ放免セサル亦前條ノ
例ニ同シ

[注]司獄官吏トハ獄屋掛リノ官員ヲ云フ

第二百八十條 前二條ニ記載シタル官吏又ハ護送者囚人ニ對シ
飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刻ノ所爲ヲ施シタル者ハ三月以上三年以下
ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

[注]此ノ前ノ二條ニ記載シタル逮捕官吏司獄官吏又ハ囚人等ヲ警衛

シテ送り行ク番人が其囚人ノ飲食或ハ衣服ヲ除キ去リ其外ムゴキ
所爲ヲ爲シタル人ヲ罰スル法ナリ
囚テ囚人ヲ死傷ニ致シタル時ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ
重キニ從テ處斷ス

〔注〕毆打傷殺ノ本條ハ第二百九十九條ヨリ第三百八條迄ニ在リ○素
ヨリ死傷スルノ意ニアラスシテ右ノ通り飲食衣服ヲ屏去シ其外苛
刻ノ所爲ヲ施シタルニ其爲メニ囚ハレ人ヲ死ナシメ或ハ傷ツケタ
ルルノ處分ヲ定ムルナリ

第二百八十一條 水火震災ノ際官吏囚人ノ監禁ヲ解クヲ怠リ
囚テ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加フ
〔注〕洪水火事地震天變等アル時ニ囚人ヲ司リタル役員が囚人ヲ押シ
込メタル處ヨリ出シ放スヲ怠リタルニ囚テ囚人ヲ死ナシメ或ハ

傷ツケ痛タメタル人ハ毆打創傷ノ本條ヲ見合セテ一等ヲ重クスル
ヲ云フ

第二百八十二條 裁判官檢事及ヒ警察官吏被告人ニ對シ罪狀ヲ
陳述セシムル爲メ暴行ヲ加ヘ又ハ陵虐ノ所爲アル者ハ四月以上四年
以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕裁判官或ハ檢事及警察ノ官員が公事ノトキ被告人ニ對シテ犯罪
ノ有様ヲ申立テサセル爲メニ暴ナル所行ヲ爲シテ被告人ヲ手荒ク
取扱ヒ又ハ之ヲ陵キ虐タル等ノ振舞アル者ヲ罰スル條ナリ
囚テ被告人ヲ死傷ニ致シタル時ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加
ヘ重キニ從テ處斷ス

〔注〕右ノ通り裁判官檢事及ヒ警察官吏が前項ノ如キ事ヲ爲シタルニ
付テ被告人ヲ死ナシメ或ハ傷ケルルハ毆打創傷ノ本條ヲ見合セ其罪

ヲ重クスルナリ

第二百八十三條

裁判官檢察官故ナクシテ刑事ノ訴ヲ受理セズ

又ハ遷延シテ審理セサル者ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕受理セズトハ受ケ付ケヌト〇遷延トハ長ク延引スルト〇審理セズトハ取調ヲ付ケサルト

其民事ノ訴ニ係ル者亦同シ

第二百八十四條

官吏人ノ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽

許シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ不正ノ處分ヲ爲シタル時ハ一等ヲ加フ

〔注〕囑託トハタノミ込ムト〇賄賂ヲ收受シ又ハ之レヲ聽許ストハ人

ニ進物ヲ貰ヒ取ルヲ又ハ其ノ進物ヲ承取ルヲ承知スルト〇若シ

官吏賄賂ノ爲メニ不正ノコトヲシタル時ハ其罪ヲ重クスルナリ

第二百八十五條

裁判官民事ノ裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ

之ヲ聽許シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ不正ノ裁判ヲ爲シタル時ハ一等ヲ加フ

第二百八十六條

裁判官檢察官警察官吏刑事ノ裁判ニ關シテ賄賂

ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ被告人ヲ曲庇シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓

以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其被告人ヲ陷害シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓

以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス若シ枉斷シタル所ノ刑此刑ヨリ重キ時ハ第二百二十一條第二百二十二條ノ例ニ照シテ反坐ス

〔注〕陷害トハ人ヲ罪ニ落スヲ〇枉斷シタル所ノ刑トハ無理ニ道理ヲ枉ゲテ決斷シ科シタル刑罰ヲ云フ

第二百八十七條 裁判官檢事警察官吏賄賂ヲ收受聽許セスト雖モ情ニ徇カヒ又ハ怨ヲ挾サミ被告人ヲ曲庇陷害シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

〔注〕情ニ徇ガヒトハ私情ニ打任カスルヲ〇怨ヲ挾ムトハ己ノ心ノ中ヲ怨ミヲ持ツテ不當ノ處分ヲスルヲ

第二百八十八條 前數條ニ記載シタル賄賂已ニ收受シタル者ハ之ヲ沒収シ費用シタル者ハ其價ヲ追徴ス

〔注〕賄賂物現存スルハ之ヲ取り上ケ費シタル時ハ其進物ノ代價ヲ取り

上ルヲ云フ

第三節 官吏財産ニ對スル罪

第二百八十九條 官吏自ラ監守スル所ノ金穀物件ヲ竊取シタル者ハ輕懲役ニ處ス

〔注〕監守ストハ監臨シ及ヒ番ヲシテ取締リスルヲ

因テ官ノ文書簿冊ヲ増減變換シ又ハ毀棄シタル時ハ第二百五條ノ例ニ照シテ處斷ス

〔注〕前項ノ通りニ因テ諸種ノ書キ付ケ或ハ帳面ヲ増シ或ハ減ラシ或ハ取り換へ又ハ破毀シ棄テタルトキハ第二百五條ヲ見合セテ處分スルナリ

第二百九十條 租稅其他諸般ノ入額ヲ徵收スル官吏正數外ノ金穀ヲ徵收シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十

圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕租税トハ年貢運上ヲ云フ○入額トハ官ニ取リ入ル、定リノ金錢
物品ノ高ヲ云フ○徵收トハ取り立ツルコト○正數外トハ定リ高ノ外
ト云フ

第二百九十一條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル
者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第二編終リ

○第二編 身體財産ニ對スル重罪輕罪

〔注〕自第二百九十二條至第三百六十五條之ヲ身體ニ對スル罪條
トシ自第三百六十六條至第四百二十四條之ヲ財産ニ對スル罪
條トス

第一章 身體ニ對スル罪

第一節 謀殺故殺ノ罪

〔注〕謀殺トハ前以テ人ヲ殺スニ決心シテ其用意ヲナシテ殺シ
タルヲ云フ○故殺トハ元來殺スノ意ナク事ニ臨ミ忽チ殺意
ヲ生シテ殺シタルモノヲ云フ

第二百九十二條 豫メ謀テ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ノ罪ト爲シ死

刑ニ處ス

九四一 第二百九十三條 毒物ヲ使用シテ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ヲ以テ

論ニ死刑ニ處ス

第二百九十四條 故意ヲ以テ人ヲ殺シタル者ハ故殺ノ罪ト爲シ

無期徒刑ニ處ス

第二百九十五條 支解折割其他慘刻ノ所爲ヲ以テ人ヲ故殺シタ

ル者ハ死刑ニ處ス

〔注〕支解トハ人ノ手足等ヲ斷リ離スヲ云フ〇折割トハ人ノ身体ヲ

打折リ切り崩スヲ云フ〇慘刻ノ處爲トハ残忍ナルムゴキヲ爲

スヲ云フ〇如斯ク慘刻ナル所爲ヲナシタル上ハ豫メ謀リテ殺シタ

ルニ非ス故意ニ殺シタルニモセヨ死刑ニ處スルナリ

第二百九十六條 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ又ハ已ニ犯シ

テ其罪ヲ免カル、爲メ人ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

〔注〕素トヨリ人ヲ殺スノ目的ヲナク重罪輕罪ヲ犯サンカ爲メ又ハ罪ヲ

免レシ爲メニ人ヲ殺スハ故殺ナレトモ之ヲ死刑ニ處スルナリ

第二百九十七條 人ヲ殺スノ意ニ出テ詐稱誘導シテ危害ニ陷レ

死ニ致シタル者ハ故殺ヲ以テ論シ其豫メ謀ル者ハ謀殺ヲ以テ論ス

〔注〕詐稱トハ虚言ヲ言フヲ〇誘導トハ人ヲ騙シイサナフヲナリ〇其

豫メ謀ルトハ人ヲ殺サン爲メニ前以テ此ノ危害ニ陷レ殺スノ用意

ヲナシタルヲ云フ

第二百九十八條 謀殺故殺ヲ行ヒ誤テ他人ヲ殺シタル者ハ仍ホ

謀殺故殺ヲ以テ論ス

〔注〕謀殺故殺ヲ以テ論ストハ謀殺ヲ行ヒ誤テ他人ヲ殺シタル者ハ謀

殺又故殺ヲ行ヒ誤テ他人ヲ殺シタル者ハ故殺ヲ以テ其罪科ヲ論

斷スト云フヲナリ

第二節 毆打創傷ノ罪

〔注〕毆打トハ人ヲ打ツ、キ打ツヲナリ。○創傷トハ人ヲキツ、ケ

ルコナリ

第二百九十九條 人ヲ毆打創傷シ因テ死ニ致シタル者ハ重懲役

ニ處ス

第三百條 人ヲ毆打創傷シ其兩目ヲ瞎シ兩耳ヲ聾シ又ハ兩肢ヲ折リ及ヒ舌ヲ斷テ陰陽ヲ毀敗シ若クハ知覺精神ヲ喪失セシメ篤疾ニ致シタル者ハ輕懲役ニ處ス

〔注〕兩目ヲ瞎シトハ人ノ兩方ノ目ヲツブシテ目睹ラニスルコナリ。○兩耳ヲ聾シトハ兩耳共モニ聞ヘヌ様ニスルコナリ。○兩肢ヲ折リトハ左右ノ手ヲ折ルカ又ハ左右ノ足ヲ折ルコナリ。○知覺精神ヲ喪失セシムトハ感シ悟ルノ力又ハ本心ヲナクナラシムルコナリ。○上ニ言フカ如キ全ク人生ノ用ヲナサヌ重キ病ヲ篤疾ト云フ

其一目ヲ瞎シ一耳ヲ聾シ又ハ一肢ヲ折リ其他身體ヲ殘廢シ癱疾ニ致シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

〔注〕殘廢トハ身體ヲソコナヒテ不具ナラシムルコナリ。○身體耳目全ク用ニ立テラヌ程ニハ至ラサルヲ癱疾ト云フ

第三百一條 人ヲ毆打創傷シ二十日以上ノ時間疾病ニ罹リ又ハ職業ヲ營ムコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

其疾病休業ノ時間二十日ニ至ラサル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

疾病休業ニ至ラスト雖モ身體ニ創傷ヲ成シタル者ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百二條 豫メ謀テ人ヲ毆打創傷シ休業癱篤疾又ハ死ニ致シタ

ル者ハ前數條ニ記載シタル刑ニ照シ各一等ヲ加フ

〔注〕休業トハ人ヲ打テ、キ打テ又ハ傷ケタルニ付キ其ノガ爲メニ職業ヲモ爲スコトヲ得ズシテ業ヲ休ミテ居ルコト

第二百三條 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ又ハ已ニ犯シテ其罪ヲ免カル、爲メ人ヲ毆打創傷シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

第二百四條 毆打ニ因リ誤テ他人ヲ創傷シタル者ハ仍ホ毆打創傷ノ本刑ヲ科ス

〔注〕毆打創傷ノ本刑トハ第二百九十九條ヨリ第三百一條迄ヲ云フ

第二百五條 二人以上共ニ人ヲ毆打創傷シタル者ハ現ニ手ヲ下シ傷ヲ成スノ輕重ニ從テ各自ニ其刑ヲ科ス若シ共毆シテ傷ヲ成スノ輕重ヲ知ルコト能ハサル時ハ其重傷ノ刑ニ照シ一等ヲ減ス但教唆者ハ減等ノ限ニ在ラズ

〔注〕各自ニ其刑ヲ科ストハ其手ヲ下シ人ニ重キ傷ヲツケタルモノニハ刑モ亦重クシ其傷ヲ輕ク付ケタル者ハ輕キ丈ケノ刑ヲ科スルヲ云フ○共毆シテトハ二人以上ニテ共モニ毆テ、キタルコト○重傷ノ刑ニ照シ一等ヲ減スルトハ例ハ二人以上ノ者人ヲ共毆シテ重傷輕傷ヲ負セタルニ誰レカ何レノ傷ヲ付ケタルカヲ知ル能ハサルコトアレハ負傷者ノ創傷中其尤モ重キ傷相當ノ刑ヨリ二等ヲ減シ其減シタル刑ヲ共毆者ノ刑トシ皆此刑ニ處スルナリ

第二百六條 二人以上共ニ人ヲ毆打スルニ當リ自ラ人ヲ傷セスト雖モ幫助シテ傷ヲ成サシメタル者ハ現ニ傷ヲ成シタル者ノ刑ニ一等ヲ減ス

〔注〕幫助トハ手傳イ助クルコト○現ニ傷ヲ成ストハ自身ノ手ヲ以テ現在人ニキツ、ケタルコト

第三百七條 健康ヲ害ス可キ物品ヲ施用シテ人ヲ疾苦セシメタル者ハ豫メ謀テ毆打創傷スルノ例ニ照シテ處斷ス

第三百八條 人ヲ殺スノ意ニ非スト雖モ詐稱誘導シテ危害ニ陷レ因テ疾病死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ヲ以テ論ス

〔注〕詐稱誘導ノ解ハ第二百九十七條ニ在リ

第二節 殺傷ニ關スル宥恕及ヒ不論罪

〔注〕此處ハ人ヲ殺シ又ハ人ヲ傷ケルノ罪ヲ宥ルシテ輕クスルコト其罪ヲ構ハザル場合トヲ掲ク○宥恕不論罪ノコトハ第七十五條以下ヲ見合スヘシ

第三百九條 自己ノ身體ニ暴行ヲ受ルニ因リ直チニ怒ヲ發シ暴行人ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス但不正ノ所爲ニ因リ自ラ暴行ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラス

〔注〕身不正ノ所爲ヲキニ暴行ヲ受ケ乍チ怒テ暴人ヲ殺傷シタルヲ云
第三百十條 毆打シテ互ニ創傷シ其手ヲ下スノ先後ヲ知ルコト能ハサル者ハ各其罪ヲ宥恕スルコトヲ得

第三百十一條 本夫其妻ノ姦通ヲ覺知シ姦所ニ於テ直チニ姦夫又ハ姦婦ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス但本夫先ニ姦通ヲ縱容シタル者ハ此限ニアラス

〔注〕姦所トハ密通シタル場所ヲ云フ○縱容トハ己レノ妻ガ密通スルヲ許シテオクコト

第三百十二條 晝間故ナシ人ノ住居シタル邸宅ニ入り若クハ門戸牆壁ヲ踰越損壞セントスル者ヲ防止スル爲メ之ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス

七五一
第三百十三條 前數條ニ記載シタル宥恕ス可キ罪ハ各本刑ニ照

シ二等又ハ三等ヲ減ス
第二百十四條 身體生命ヲ正當ニ防衛シ已ムコトヲ得サルニ出テ

暴行人ヲ殺傷シタル者ハ自己ノ爲メニシ他人ノ爲メニスルヲ分タス
其罪ヲ論セズ但不正ノ所爲ニ因リ自ラ暴行ヲ招キタル者ハ此限ニ在
ラズ

〔注〕正當防衛トハ人ノ亂暴ヲ受ルニ暴行人ヲ殺傷スル外ハ他ニ身體
生命ヲ保護スルニ道ナク力ヲ極メテ暴行ヲ防キ身體生命又ハ財產
ヲ衛ルニ其防衛至當ノコトナルヲ云フ

第二百十五條 左ノ諸件ニ於テ已ムコトヲ得サルニ出テ人ヲ殺傷

- シタル者ハ其罪ヲ論セズ
- 一 財產ニ對シ放火其他暴行ヲ爲ス者ヲ防止スルニ出タル時
- 二 盜犯ヲ防止シ又ハ盜賊ヲ取還スルニ出タル時

〔注〕盜犯トハ盜人ヲ云フ○盜賊トハ盜ミ取ラレタル物品ヲ云フ

三 夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ入り若クハ間戸牆壁ヲ踰越損壞
スル者ヲ防止スルニ出タル時

第二百十六條 身體財產ヲ防衛スルニ出ルト雖モ已ムコトヲ得サ

ルニ非スシテ害ヲ暴行人ニ加ヘ又ハ危害已ニ去リタル後ニ於テ勢ニ
乘シ仍ホ害ヲ暴行人ニ加ヘタル者ハ不論罪ノ限ニ在ラス但情狀ニ因
リ第三百十三條ノ例ニ照シ其罪ヲ宥恕スルコトヲ得

〔注〕本條ハ正當ノ防衛ニアラサルヲ示スモノナリ

第四節 過失殺傷ノ罪

〔注〕チチドアリテ其爲メニ人ヲ殺シ又ハ傷ケタルコト○殺傷シ
タルハ犯人カ意外ノコトナレモ能ク注意スルハ殺傷スルコ
トナキモノヲ注意ノ足ラサルハ過失ノ罪ヲ免ル能ハサル所以

シナリトス

第三百十七條 疎虞懈怠又ハ規則慣習ヲ遵守セス過失ニ因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

〔注〕疎虞トハ用心ヲ忽ニスルコト即チ不注意ノコト○懈怠トハ惰リナマケルコト○慣習トハ昔シヨリ行ハル、仕來リノコト

第三百十八條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ癡篤疾ニ致シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

〔注〕癡篤疾ノ解ハ第三百二條ニ在リ

第三百十九條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ疾病休業ニ至ラシメタル者ハ二圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

〔注〕疾病休業ノ解ハ第三百條ニ在リ

第五節 自殺ニ關スル罪

第三百二十條 人ヲ教唆シテ自殺セシメ又ハ囑託ヲ受ケテ自殺

人ノ爲メニ手ヲ下シタル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其他自殺ノ補助ヲ爲シタル者ハ一等ヲ減ス

〔注〕囑託ヲ受クトハ依頼ヲ受クルヲ云フ○自殺人ノ爲メニ手ヲ下ストハ頼ミニ應ジ其自殺人ヲ己レカ手ニカケ死ナシムルヲ云フ○補助トハ手傳ヒ助ケルコト

第三百二十一條 自己ノ利ヲ圖リ人ヲ教唆シテ自殺セシメタル者ハ重懲役ニ處ス

第六節 擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪

〔注〕無法ニ人ヲ捕ヘ又ハ押シ込ムルコト○常人擅ニ人身自由ヲ妨害スル罪ヲ揭ク○第二百七十八條以下見合スヘシ

第三百二十二條 擅ニ人ヲ逮捕シ又ハ私家ニ監禁シタル者ハ十日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但監禁日數十日ヲ過ル毎ニ一等ヲ加フ

〔注〕逮捕トハ人ヲ捕ヘルヲ〇監禁トハ押シ込ムルヲ

第三百二十三條 擅ニ人ヲ監禁制縛シテ毆打拷責シ又ハ飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刻ノ所爲ヲ施シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕制縛トハ人ヲ無理ニ押ヘ付ケ又タ繩ヲ懸ケテシバルヲ云ラ〇拷責トハ拷問シテ責ムルヲ〇飲食衣服ヲ屏去ストハ飲物食物ヲ與ヘス及ヒ着物ヲ剥ギ去ルヲ〇苛刻トハキビシクムゴキヲ爲スヲ云フ

第三百二十四條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死傷ニ致シタル

者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第三百二十五條 擅ニ人ヲ監禁シ水火震災ノ際其監禁ヲ解シテヲ怠リ因テ死傷ニ致シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

第七節 脅迫ノ罪條

〔注〕威ドシ迫マリテ人ヲ畏懼セシムル罪條

第三百二十六條 人ヲ殺サント脅迫シ又ハ人ノ住居シタル家屋ニ放火セント脅迫シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

毆打創傷其他暴行ヲ加ヘント脅迫シ又ハ財産ニ放火シ及ヒ毀壞劫掠セント脅迫シタル者ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百二十七條 兇器ヲ持シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等

ヲ加フ

〔注〕兇器トハ凡テ人ヲ殺傷シ其他罪ヲ犯スニ用ル機械刃物等ヲ云フ

第三百二十八條 親屬ニ害ヲ加フ可キ事ヲ以テ脅迫シタル者ハ

亦前二條ノ例ニ同シ

第三百二十九條 此節ニ記載シタル罪ハ脅迫ヲ受ケタル者又ハ

其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第八節 墮胎ノ罪

〔注〕墮胎トハ孕ンタル子ヲ未タ出産セサルウチニ藥物等其外

種々ノ仕方ヲ以テ下ス^カヲ云フ

第三百三十條 懷胎ノ婦女藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎シタル者

ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十一條 藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎セシメタル者ハ亦

前條ニ同シ因テ婦女ヲ死ニ致シタル者ハ一年以上三年以上ノ重禁錮ニ處ス

〔注〕前條ノ懷胎ハ婦女自ラ子ヲ下シタル罪ヲ云ヒ此條ハ婦女ニス、メテ墮胎ヲサセタル人ニ付テノ罪ヲ云フ

第三百三十二條 醫師穩婆又ハ藥商前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

〔注〕穩婆トハ懷妊ノ婦女ヲ療治シ出産ノ時ハ赤子ヲ取り舉グル婆^バヲ云フ

第三百三十三條 懷胎ノ婦女ヲ威逼シ又ハ誑騙シテ墮胎セシメタル者ハ一年以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

〔注〕威逼トハオドシカクル^コ誑騙トハダマシスカス^カト

第三百三十四條 懷胎ノ婦女ナル^コヲ知テ毆打其他暴行ヲ加ヘ

因テ墮胎ニ至ラシメタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス其墮胎セシムルノ意ニ出タル者ハ輕懲役ニ處ス

第二百三十五條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ婦女ヲ癡篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第九節 幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪

〔注〕法律ニ於テ廿才未滿ハ皆幼者トス但此節ニ所謂ル幼者トハ八才ニ滿サル子供ノ一〇老疾トハ老人及ヒ病人ヲ云フ
遺棄トハ置キ遁ケ捨ツルヲ云フ

第二百三十六條 八歳ニ滿サル幼者ヲ遺棄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

自ラ生活スルヲ能ハサル老疾者ヲ遺棄シタル者亦同シ

第二百三十七條 八歳ニ滿サル幼者又ハ老疾者ヲ寥闕無人ノ地

ニ遺棄シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

〔注〕寥闕トハ至テサミシキヲ

第二百三十八條 給料ヲ得テ人ノ寄託ヲ受ケ保養ス可キ者前二條ノ罪ヲ犯シタル時ハ各一等ヲ加フ

〔注〕寄託ヲ受ケトハ他人ヨリ幼者又ハ老疾者ノ保護養育ヲ頼マレタル一〇保養トハ保護養育スルヲ

第二百三十九條 幼者老疾者ヲ遺棄シ因テ癡疾ニ致シタル者ハ輕懲役ニ處シ篤疾ニ致シタル者ハ重懲役ニ處シ死ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

第二百四十條 自己ノ所有地又ハ看守ス可キ地内ニ遺棄セラレタル幼者老疾者アルヲ知テ之ヲ扶助セズ又ハ官署ニ申告セサル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

〔注〕看守トハ番スルコト○扶助トハタスクルコト○申告トハ申シ出ルコト
若シ疾病ニ罹リ昏倒スル者アルコトヲ知テ扶助セス又ハ申告セサル者
亦同シ

〔注〕昏倒トハ病氣ノ爲メニ目モ心モ暗ミテ途中ニ倒レ臥スコト

第十節 幼者ヲ略取誘拐スル罪

〔注〕略取トハ無理取リスルコト○誘拐トハダマシイザナイテ連

レ行クコト

第三百四十一條 十二歳ニ滿サル幼者ヲ略取シ又ハ誘拐シテ自
ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ
處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕藏匿トハカクシ置クコト○交付トハ人ニ渡シテシマフコトヲ云フ

第三百四十二條 十二歳以上二十歳ニ滿サル幼者ヲ略取シテ自

ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ
處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其誘拐シテ自ラ藏匿シ若ク
ハ他人ニ交付シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上
二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十三條 畧取誘拐シタル幼者ナルコトヲ知テ自己ノ家屬
僕婢ト爲シ又ハ其他ノ名稱ヲ以テ之ヲ收受シタル者ハ前二條ノ例ニ
照シ各一等ヲ減ス

〔注〕家屬トハ我が一家内ヲ云フ○收受トハ我が手元ニ取り付ケテオ
クコト

第三百四十四條 前數條ニ記載シタル罪ハ被害者又ハ其親屬ノ
告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス但畧取誘拐セラレタル幼者式ニ從テ婚姻ヲ爲
シタル時ハ告訴ノ效ナシ

〔注〕式ニ從テ婚姻ヲ爲ストハ法律ニ定メラレタル法式ヲ以テ婚姻スルヲ〇告訴ノ效ナシトハ其畧取誘拐セラレタル親戚ノ者共ガ官ニ訴ヘ出ルトモ取上ケニナラヌコト

第三百四十五條 二十歳ニ滿サル幼者ヲ畧取誘拐シテ外國人ニ交附シタル者ハ輕懲役ニ處ス

〔注〕交付トハ引渡スコト

第十一節 猥褻姦淫重婚ノ罪

〔注〕猥褻トハミダリカワシキコト第二百五十八條見合スヘシ〇

姦淫トハ夫婦ニアラサル男女密通スルコト〇重婚トハ一度婚

姻シテ配偶者アル上ニ重テ婚姻スルコト

第三百四十六條 十二歳ニ滿サル男女ニ對シ猥褻ノ所行ヲ爲シ又ハ十二歳以上ノ男女ニ對シ暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ爲シタル

者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十七條 十二歳ニ滿サル男女ニ對シ暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ爲シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三百四十八條 十二歳以上ノ婦女ヲ強姦シタル者ハ輕懲役ニ處ス

藥酒等ヲ用ヒ人ヲ昏睡セシメ又ハ精神ヲ錯亂セシメテ姦淫シタル者ハ強姦ヲ以テ論ス

〔注〕昏睡トハ暗マシ睡ラシムルコト〇精神ヲ錯亂セシムトハ心ヲ亂ラシテ前後モ忘却スル程ニスルコト

第三百四十九條 十二歳ニ滿サル幼女ヲ姦淫シタル者ハ輕懲役

ニ處ス若シ強姦シタル者ハ重懲役ニ處ス

第二百五十條 前數條ニ記載シタル罪ハ被害者又ハ其親屬ノ告

訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第二百五十一條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ

致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス但強姦ニ因

テ癱篤疾ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ無期徒刑

ニ處ス

第二百五十二條 十六歳ニ滿サル男女ノ淫行ヲ勸誘シテ媒合シ

タル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰

金ヲ附加ス

〔注〕淫行ヲ勸誘ストハ色事ヲス、メルヲ〇媒合ストハ色事ヲ取持ッ

ト

第二百五十三條 有夫ノ婦姦通シタル者ハ六月以上二年以下ノ

重禁錮ニ處ス其相姦スル者亦同シ

此條ノ罪ハ本夫ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス但本夫先ニ姦通ヲ縱容シタ

ル者ハ告訴ノ效ナシ

第二百五十四條 配偶者アル者重子テ婚姻ヲ爲シタル時ハ六月

以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕配偶トハ夫婦ノヲナリ夫ノ爲メニハ妻ハ配偶者ナリ妻ノ爲メニ

夫ハ配偶者ナリ有夫又ハ有妻ノ者カ他人ト婚姻スルヲ云フ

第十二節 誣告及ヒ誹毀ノ罪

〔注〕誣告トハ人ニ無實ノ罪ヲ云ヒカケ官ニ訴フルヲ〇誹毀ト

ハ人ヲ惡ク言テソシルヲ

第二百五十五條 不實ノ事ヲ以テ人ヲ誣告シタル者ハ第二百二

十條ニ記載シタル偽證ノ例ニ照シテ處斷ス

〔注〕第二百二十條ノ偽證ノ例三ツアリ其一ハ重罪ニ陥ラシムル爲メ偽證シタル者ノ刑其證シタル者ノ刑其二ハ輕罪ニ陥ラシムル爲メ偽證シタル者ノ刑其三ハ違警罪ニ陥ラシムル爲メ偽證シタル者ノ刑ナリ但シ本條ハ其

第一二ノ例ニ照準シテ處分スルモノナリ

第二百五十六條 証告ヲ爲スト雖ドモ被告人ノ推問ヲ始メサル前ニ於テ証告者自首シタル時ハ本刑ヲ免ス

第二百五十七條 証告ニ因テ被告人刑ニ處セラレタル時ハ第二百二十一條第二百二十二條ニ記載シタル例ニ照シテ處斷ス

〔注〕偽證ノ爲メ被告人死刑ニ處セラレタル時ハ反坐ノ刑ニ一等ヲ減ス其未タ刑ヲ執行セザル前ニ於テ發覺シタル時ハ一等ヲ減ス○若シ被告人ヲ死ニ陥ル、ノ目的ヲ以テ偽證ヲ爲シタル時ハ死刑ニ反坐

ス其未タ刑ヲ執行セザル前ニ於テ發覺シタル時ハ一等ヲ減スル等ノ例ヲ云フナリ

第二百五十八條 惡事醜行ヲ摘發シテ人ヲ誹毀シタル者ハ事實ノ有無ヲ問ハス左ノ例ニ照シテ處斷ス

〔注〕醜行トハ見苦ルシキ行狀ヲ云フ○摘發トハアバキ出ス

一公然ノ演説ヲ以テ人ヲ誹毀シタル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

二書類畫圖ヲ公布シ又ハ雜劇偶像ヲ作爲シテ人ヲ誹毀シタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕雜劇トハ色々ナル芝居類ヲ云フ○偶像トハ人形類ヲ云フ

第二百五十九條 死者ヲ誹毀シタル者ハ誣罔ニ出タルニ非サレ

ハ前條ノ例ニ照シテ處斷スルヲ得ス

〔注〕誣罔トハ無實ノコト有實ト言フ

第二百六十條 醫師藥商穩婆又ハ代言人辯護人代書人若クハ神官僧侶其身分職業ニ於テ委託ヲ受ケタル事ニ因リ知得タル陰私ヲ漏告シタル者ハ誹毀ヲ以テ論シ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但裁判所ノ呼出ヲ受ケテ事實ヲ陳述スル者ハ此限ニ在ラス

〔注〕藥商トハ藥ヲ賣ル商人ヲ云フ○穩婆トハ赤子ヲ取り舉クル婆娍

ヲ云フ○僧侶トハ坊主ボウシノコト○委託トハ人カラマカセタノマレタル

コト○陰私トハ人ニ包ミ藏ス内シヨノ事○漏告トハ他人ニモラシテ告クルコト○辯護人トハ刑事ノ代言士ヲ云フ

第二百六十一條 此節ニ記載シタル誹毀ノ罪ハ被害者又ハ死者

ノ親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第十三節 祖父母父母ニ對スル罪

第二百六十二條 子孫其祖父母父母ヲ謀殺故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

其自殺ニ關スル罪ハ凡人ノ刑ニ照シ二等ヲ加フ

〔注〕次項ハ親屬ニテナキ者ニ科スル刑ヨリ二等ヲ重クスルヲ云フ第三百二十條以下見合スヘシ

第二百六十三條 子孫其祖父母父母ニ對シ毆打創傷ノ罪其他監禁脅迫遺棄誣告誹毀ノ罪ヲ犯シタル者ハ各本條ニ記載シタル凡人ノ刑ニ照シ二等ヲ加フ但癡疾ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處シ篤疾ニ致シタル者ハ無期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス

第二百六十四條 子孫其祖父母父母ニ對シ衣食ヲ供給セス其他

必要ナル奉養ヲ缺キタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

〔注〕奉養トハ子孫タル者カ父母ヲ養ヒ父母ニ仕フルヲ云フ

因テ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

第三百六十五條 祖父母父母ニ對シタル殺傷ノ罪ハ特別ノ宥恕

及ヒ不論罪ノ例ヲ用フルヲ得ス但其犯ス時知ラサル者ハ此限ニ在ラス

第二章 財産ニ對スル罪

第一節 竊盜ノ罪

〔注〕竊盜トハ人ノ覺知スルヲ恐レ人ノ目ヲシノシテ物ヲヒソカニ盜ミ取ルヲナリ

第三百六十六條 人ノ所有物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ノ罪ト爲シ

二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百六十七條 水火震災其他ノ變ニ乘シテ竊盜ヲ犯シタル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百六十八條 門戶牆壁ヲ踰越損壞シ若クハ鎖鑰ヲ開キ邸宅

倉庫ニ入り竊盜ヲ犯シタル者ハ亦前條ニ同シ

〔注〕鎖鑰トハカキ金錠マヘ等ノ類ヲ云フ

第三百六十九條 二人以上共ニ前三條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

第三百七十條 兇器ヲ携帯シテ人ノ住居シタル邸宅ニ入り竊盜

ヲ犯シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第三百七十一條 自己ノ所有物ト雖トモ典物トシテ他人ニ交付

シ又ハ官署ノ命令ニ因リ他人ノ看守シタル時之ヲ竊取シタル者ハ竊

盗ヲ以テ論ス

〔注〕典物トシテトハ質入レ物トスルヲ〇看守トハ見締メ守ルヲ
第三百七十二條 田野ニ於テ穀類菜菓其他ノ産物ヲ竊取シタル
者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

〔注〕菜果トハ野菜類及ヒ果物類ヲ云フ〇産物トハ田野ニ出來ルモノ
ヲ云フ

第三百七十三條 山林ニ於テ竹木鑛物其他ノ産物ヲ竊取シ又ハ
川澤池沼湖海ニ於テ人ノ生養シ若クハ營業ニ關スル産物ヲ竊取シタ
ル者ハ亦前條ニ同シ

〔注〕鑛物トハ土中ヨリ出ル金屬及ヒ石炭等迄ヲモ云フ〇營業トハ職
業トシテイトナムヲ云フ

第三百七十四條 牧場ニ於テ牧畜ノ獸類ヲ竊取シタル者ハ二月

以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

〔注〕牧場トハ牛馬及ヒ其他ノ畜類ヲ生育スル場所ヲ云フ〇牧畜トハ
養ヒ育ツル毛モノ類ヲ云フ

第三百七十五條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未ダ遂
ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

〔注〕未遂犯罪ノ例ハ第百十一條ヨリ第百十三條迄ニ在リ

第三百七十六條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル
者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三百七十七條 祖父母父母夫妻子孫及ヒ其配偶者又ハ同居ノ
兄弟姊妹互ニ其財物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ヲ以テ論スルノ限ニ在ラ
ス

若シ他人ト共ニ犯シテ財物ヲ分チタル者ハ竊盜ヲ以テ論ス

〔注〕若シ通常ノ他人ト共ニ前項ノ親屬財物ヲ取り之ヲ他人ト分ケタルハ通常ノ竊盜ノ罪ニ處スルナリ

第二節 強盜ノ罪

第三百七十八條 人ヲ脅迫シ又ハ暴行ヲ加ヘテ財物ヲ強取シタル者ハ強盜ノ罪ト爲シ輕懲役ニ處ス

第三百七十九條 強盜左ニ記載シタル精狀アル者ハ一個コトニ一等ヲ加フ

- 〔注〕精狀トハ有様ヲ云フ○一個毎ニトハ有様ノ一カドニ付キト云フ
- ナリ故ニ二人以上ニシテ兇器ヲ携帯シ共ニ犯シタル時ハ二カドノ有様アルヲ以テ二等ヲ加フルナリ
- 一二人以上共ニ犯シタル時
- 二兇器ヲ携帯シテ犯シタル時

第三百八十條 強盜人ヲ傷シタル者ハ無期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス

第三百八十一條 強盜婦女ヲ強姦シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第三百八十二條 竊盜財ヲ得テ其取還ヲ拒ク爲メ臨時暴行脅迫ヲ爲シタル者ハ強盜ヲ以テ論ス

第三百八十三條 藥酒等ヲ用ヒ人ヲ醉迷セシメ其財物ヲ盜取シタル者ハ強盜ヲ以テ論シ輕懲役ニ處ス

第三百八十四條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ減刑ニ因テ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第二節 遺失物埋藏物ニ關スル罪

〔注〕遺失物トハ途中ニ落チアルモノ○埋藏物トハ地中ニ埋マリタル物品ヲ云フ